第 20 回木津川出張所管内
運営会議（H27.11.20）
資料－３

平成 27 年度（上半期）河川レンジャー活動報告

平成 27 年 11 月

木津川管内河川レンジャー　　山田　信人　（5 期生）
田中　実知世　（5 期生）
柴垣　治男　（7 期生）
小泉　道夫　（9 期生）

河川レンジャーアドバイザー　　福井　波恵
山村　武正
（グループ河川レンジャー責任者）

目　次

○山田河川レンジャー（上半期）活動報告

1.　平成 27 年度　河川レンジャー活動の目的と達成手段 1
2.　古川小学校出前授業 ・平成 27 年 5 月 22 日(金) 4
3.　宇治市環境展出展 ・平成 27 年 6 月 1 日(月)～4 日(木) 6
4.　山田川・権谷川水質モニタリング ・平成 27 年 8 月 21 日(金) 8
5.　第 5 回古川水ウォッチング ・平成 27 年 9 月 26 日(土) 10
6.　第 5 回木津川一斉水ウォッチング ・平成 27 年 10 月 10 日(土) 13

○田中河川レンジャー（上半期）活動報告

7.　平成 27 年度　河川レンジャー活動の目的と達成手段 15
8.　木津川水辺活動 ・平成 27 年 4 月～9 月..... 18
9.　春の野鳥観察会 ・平成 27 年 4 月 25 日(土) 26
10. 親子水辺の安全講習会 ・平成 27 年 7 月 13 日(月) 28
11. 木津川上下流交流 ・平成 27 年 7 月 26 日(日) 30
12. バッタのオリンピック ・平成 27 年 9 月 23 日(水) 32

○柴垣河川レンジャー（上半期）活動報告

13. 平成 27 年度　河川レンジャー活動の目的と達成手段 34
14. 稚鮎の放流 ・平成 27 年 5 月 19 日(火) 36
15. ホタル見学会 ・平成 27 年 6 月 26 日(日) 38
16. 京・村まつり ・平成 27 年 7 月 28 日(日) 40

○小泉河川レンジャー（上半期）活動報告

17. 平成 27 年度　河川レンジャー活動の目的と達成手段 42
18. 木津川　植物観察 ・平成 27 年 7 月 11 日(土) 44

○福井河川レンジャーアドバイザー活動報告

19. 古川小学校出前授業 ・平成 27 年 5 月 21 日(木) 46

○山村河川レンジャーアドバイザー活動報告

20. ツバメのねぐら ・平成 27 年 8 月 8 日(土) 48
21. 竹じゃかごづくりと設置 ・平成 27 年 10 月 17 日(土) 50

○グループ河川レンジャー（上半期）活動報告

22. 平成 27 年度　活動計画 52
23. 天井川観察会 ・平成 27 年 4 月 29 日(水) 59
24. 親子で遊ぼう学ぼう魚とり ・平成 27 年 8 月 2 日(日) 61
25. 親子で遊ぼう学ぼう魚とり ・平成 27 年 8 月 23 日(日) 63

○小泉河川レンジャー・グループ河川レンジャー連携活動

26. 木津川自然観察会 ・平成 27 年 4 月 29 日(水) 65

○柴垣河川レンジャー・谷口河川レンジャー連携活動

27. アユの棲む川、棲める川 ・平成 27 年 9 月 26 日(土) 67

○山田河川レンジャー・福井河川レンジャーアドバイザー連携活動

28. 上狛川クリーン作戦と親子川の学校 ・平成 27 年 9 月 12 日(土) 70

○小泉河川レンジャー・山村河川レンジャーアドバイザー連携活動

29. 木津川秋の花散策 ・平成 27 年 9 月 12 日(土) 72

○山田河川レンジャー・田中河川レンジャー・柴垣河川レンジャー
小泉河川レンジャー・福井河川レンジャーアドバイザー連携活動
30. 木津川クリーンアップ ・平成 27 年 5 月 30 日(土) 75

○山田河川レンジャー・田中河川レンジャー
柴垣河川レンジャー・小泉河川レンジャー連携活動
31. 木津川市夏祭りロビー展 ・平成 27 年 7 月 6 日(月)～8 日(水) 77

○山田河川レンジャー・田中河川レンジャー・小泉河川レンジャー
福井河川レンジャーアドバイザー・杉本河川レンジャー連携活動
32. 木津川いきもの観察会 ・平成 27 年 7 月 31 日(金) 79

○山田河川レンジャー（上半期）活動報告

１．平成 27 年度　河川レンジャー活動の目的と達成手段

1.1 活動の目的

課題・問題点・背景
その昔泉川と呼ばれた木津川は、30 数年前と比べほぼ汚れ(COD 値で見る)が倍増しています。そして、この 10 年位は汚染値が横ばいを示しています。又多くの木津川支流が汚染増加によって流域の住民から疎遠なものとなってきています。加えて支流の多くが治水優先の対策により、コンクリート 3 面張りとなるなど生物の生息環境が悪化し、ますます子どもたちや地域の方々が川や流域の自然にふれあえなくなってきています。
活動目的
木津川とその支流の水質汚染の実態把握と改善。又水質問題を中心としながら、豊かな自然の再生よる環境保全活動の前進を通して、子どもたちが遊び住民が憩える川づくり。

1.2 活動の目標

Step1　住民と共に水ウォッチングを実施し、蓄積された水質データと分析の発信、また流域の住民団体との連携の実現。
Step2　水ウォッチングを地域の住民団体・行政と連携して実施し、水質改善の取組を実現する。
Step3　木津川に関わる団体・行政を繋ぎ、木津川再生協議会(仮称)を設立し、具体的な木津川に対する提案書を作成する。
支流でも、同様な取組を追求し、提案書を作成する。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1 期		2 期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	①木津川本川５地点とその支流 17 地点を一斉に水質調査する木津川一斉水ウォッチングを住民団体や有志の協力で実施。 ②支流の水ウォッチングを流域の住民団体と一緒に取り組む。 ③環境学習や総合学習などの支援を通して、水環境について考え行動する力を育成する。 ④木津川管内河川レンジャー共同の木津川沿川活動団体交流会や木津川展を実施し、木津川の良さや問題点を拡げる。					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①流域の住民団体と連携する水ウォッチング等への行政参加・行政支援の実現。 ②行政からの要請による講演・環境学習。 ③行政の協力を依頼した河川整備計画を現地で学び交流する企画。･その中で出される住民の方々の意見の集約と発信。 ④木津川沿川活動団体交流会や木津川展への行政支援・行政参加。					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①木津川本川では、木津川展や木津川沿川活動 団体交流会の質的発展により、行政も関わる木津川再生協議会(仮称)といったものに移行し、木津川に関する具体的な意見を集約し、提案をまとめる。 ②支流では、連携住民団体を中心に○○川の将来を考える協議会(仮称)をつくり、意見を集約し、川づくりの提案をまとめる。					

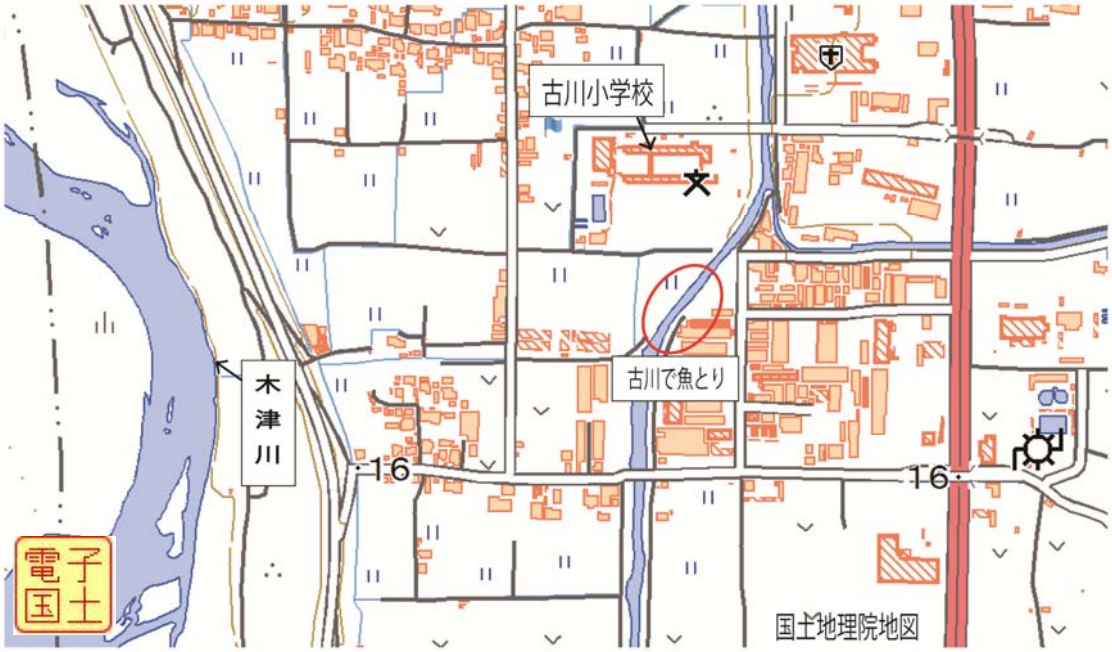
平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施予定
河川の環境保全を図る活動	木津川とその支流の水ウォッチング数回 木津川とその支流の水質モニタリング **木津川クリーンアップ**	5～10 月 5～10 月 5 月
防災・救援・救難の推進を図る活動	**地域で考えよう防災**	10 月
活動地域への河川環境啓発活動	小・中学生の環境学習や総合学習等の出前授業(宇治市立広野中学校科学クラブの水質調査指導を含む) 宇治市環境展、宇治環境フェスタ 近畿子どもの水辺交流会での発表 **木津川展、木津川市夏祭りロビー展** **木津川マラソン 河川レンジャー展**	通年 6 月、11 月 1 月予定 7 月、1 月 2 月
行政と住民のコーディネイト	**木津川沿川活動団体交流会**	1 月
川づくりまちづくりへの参画活動	**上狛川クリーン作戦**	9 月

※網掛は連携活動

2.古川小学校出前授業　　・　　平成 27 年 5 月 22 日(金)

2.2 実施状況

活 動 名	古川小学校出前授業・水質調査		
活動分野	自然観察		
氏　　名	山田　信人（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：城陽市立古川小学校)		
活動日時	平成 27 年 5 月 22 日(金)13：30～15：50		
実施場所	古川小学校～古川  		
参加対象	城陽市立古川小学校 4 学年		
参加人数	参加総数	55 名	
	参加者	53 名	教師 3 名、4 年生 50 名
	講師	－	
	スタッフ	1 名	福井河川レンジャーアドバイザー
	連携団体関係者	－	
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	22 日 13:30	児童集合、開始、レンジャーから水質の講義
	14:10	COD パックテストの手順について
	14:25	パックに吸水、色反応を待つ
	14:50	古川の水質結果としょう油の添加結果確認
	15:00	福井アドバイザーから古川の成り立ちについて
	15:20	児童と質疑応答、採取した生きものや展示したカメほかの観察
	15:50	終了、解散
配付資料		アンケート用紙(担当レンジャー、事務局作成)・水・・・調べてわかる数の見かた(担当レンジャー作成) ・水質調査票(担当レンジャー作成) ・事前指導配布用として河川レンジャーNews32 号
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所：高濃度用 COD パックテスト提供、水質調査表・アンケート用紙印刷、レンジャーNews32 号提供

河川レンジャーの活動内容	準　備	・5/13 担任団との打合せ（打合せ用レジュメ作成） ・四年生向けの水質調査用パワーポイントデータ作成。 ・出前授業のプログラムと準備物一覧作成・水質調査用道具類の準備
	当　日	古川の水の採水を含めた準備、水の汚れに関するパワーポイントによる授業、古川の水質調査指導、2 滴のしょう油を加え再度水質調査、まとめ、福井 R の出前授業協力、後片付け、担任団との反省会
	事　後	アンケートのまとめ作成
参加者からの意見		子どもたちの感想(抜粋) ・古川の水は、とってもきたないことが分かりました。 ・古川の水にしょう油を２てきいれるだけで、よごれが倍になることが分かりました。 ・見た目ではきづかない水にもよごれがあることが分かりました。しょう油２てきでもよごれるということは、少し物を川に流すと大変になることがわかりました。 ・さかながかわいそうだと、思いました。（スライドを見て）　へんなかんじになってたりしたのが、こわかったり、かわいそうだったです。 ・古川の水だけでも、１０ppm とかなのに、しょう油たったの２てきで、ばいになってしまうのでびっくりしました。ゴミひろいも心がけたいです。 ・古川の水は、とってもきたない事がわかりました。でも、とてもかんたんな方ほうでできたので、また水道の水もためしてみたいです。

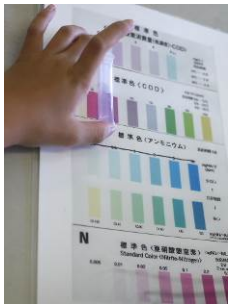
2.2 活動状況



COD パックテストの手順について説明



児童と質疑応答





パックテストによる水質測定

3. 宇治市環境展出展　　・平成 27 年 6 月 1 日(月)～4 日(木)

3.1 実施状況

活 動 名	宇治市環境展出展		
活動分野	啓発その他		
氏　　名	山田　信人（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 （団体名：宇治市環境企画課・エコット宇治　）		
活動日時	平成 27 年 6 月 1 日(月)～4 日(木)10：00～17：00		
実施場所	宇治市役所１Ｆロビー　市民ギャラリー：京都府宇治市宇治琵琶 33  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	487 名	
	参加者	470 名	来場者数 6 月 1 日 173 名、2 日 128 名、3 日 73 名 4 日　96 名
	スタッフ		
	連携団体関係者	10 名	
	府県・市職員	5 名	宇治市
	新聞記者	1 名	
	淀川河川事務所		
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開始、来場者への案内と展示説明（初日は、8:30～展示準備） （木津川とその支流の水質調査結果パネル） （木津川の侵略的外来種パネル）（「名木川の野鳥たち」パネル） （宇治市立広野中学校科学部による「身近な名木川について」パネル）等	
	17:00	終了、後片付け （最終日は、15:00 終了、片付け）	
配付資料		木津川とその支川の水質汚染について、木津川の水質とアユについて、河川レンジャーNews No31&No32	
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所：木津川一斉水ウォッチング報告用パネル印刷、名木川下流の野鳥たちパネル印刷とラミネート、レンジャーNews31&32 号提供	

河川レンジャーの活動内容	準　備	宇治市環境企画課との事前打ち合わせ、広野中学校科学部の出展依頼と出展物運搬の相談、木津川一斉水ウォッチング報告用パネルのデータ作成、レンジャーNews31 号＆32 号提供依頼、展示タイトル印刷、展示に必要な物品準備
	当　日	会場での展示物掲示を含め河川レンジャーのブース設営 ブース訪問者に展示の説明、アンケート依頼、ブースの片付け
	事　後	広野中学校科学部へ宇治市環境展の報告、環境企画課へお礼
参加者からの意見		昨年同様、広野中学校科学部への出前授業で取り組んだ名木川の調査を出展した。展示したのはまとめそのものでなく、今年１月の近畿「子どもの水辺」交流会での発表ポスターと調査概要や地域への発信活動のパネルを展示したが、好評であった。調査内容はもちろん、地元の中学生が川の環境調査をし、その結果を地域へ発信していることに関心を示された方が多い。科学部員の保護者で、展示を見に来られた方もあり、大変喜んでいただいた。 「名木川に棲む野鳥」の写真は、例年通り好評。また木津川の侵略的外来種ポスターや木津川の汚染マップについても、熱心に質問される方があった。今後も環境展や環境フェスタといった企画に参加する意義を感じた。

3.2 活動状況



会場全景･宇治市役所ロビー



レンジャー展示河川水質結果



レンジャーから来場者への説明



身近な名木川についての話

4.山田川・権谷川の水質モニタリング　　・　　平成 27 年 8 月 29 日(土)

4.1 実施状況

活 動 名	山田川・権谷川の水質モニタリング		
活動分野	環境保全		
氏　　名	山田信人（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：生駒市鹿ノ台住民組織　ECOKA 委員会)		
活動日時	平成 27 年 8 月 29 日(土)　9：50～12：40　　14：00～24：00		
実施場所	山田川(生駒市鹿の畑～JR 西木津駅裏)6 地点と権谷川 6 地点＋浄化実験水 3 		
参加人数	参加総数	5 名	
	スタッフ	1 名	伊藤千恵子氏
	連携団体	4 名	ECOKA 委員会

スケジュール	10:00	近鉄新田辺駅からスタッフの車で出発
	10:30	山田荘 L 地点　採水作業、水温計測
	10:40	支流乾谷川下流地点
	10:50	両国橋下流地点
	11:10	生駒市鹿の畑地点 N
	11:20	山田川浄化センター前排水路 M'。この地点で ECOKA 委員会から権谷川採水と採水を浄化処理した水を受け取る。
	11:50	山田川最下流地点 K（→新田辺駅から近鉄で自宅に戻る。）
	14:00	検水 15 本の水質測定(5 項目を、ユニメーターで測定。他にｐH 計でｐH 測定)
	24:00	測定終了後、片付け。
配付資料		特になし
関係機関からの支援内容		やましろ里山の会：測定器具借用、試薬提供
河川レンジャーの活動内容	準　備	採水用ペットボトル・採水器具の準備、測定器具の点検、試薬の注文 ECOKA 委員会との打合せ
	当　日	現地：採水、水温・気温測定（6 地点）、ECOKA 委員会より検水受取。 自宅:ユニメーターによる水質測定(ＣＯＤ・アンモニア性窒素・亜硝酸性窒素他)
	事　後	ユニメーターの測定値から汚染値の計算、水質汚染のまとめづくり ECOKA 委員会へ権谷川の水質測定のまとめを送信。(予定)
参加者からの意見		今回も、やましろ里山の会の伊藤千恵子氏の協力を得て採水と水温・気温測定を実施した。伊藤氏は、前回や前々回の山田川水質モニタリングでもスタッフをお願いしてきた方で、今回も快く引き受けて頂いた。山田川水ウォッチングで交流を深め、昨年は権谷川水ウォッチングを共催した ECOKA 委員会から、権谷川の水質測定を依頼されたので、山田川と併せて水質モニタリングに取り組んだ。 今回の水質モニタリングのまとめは、精華町や生駒市にも、まとめを送付する予定である。

4.2 活動状況



スタッフによる乾谷川の気温測定



山田川山田荘地点での採水作業



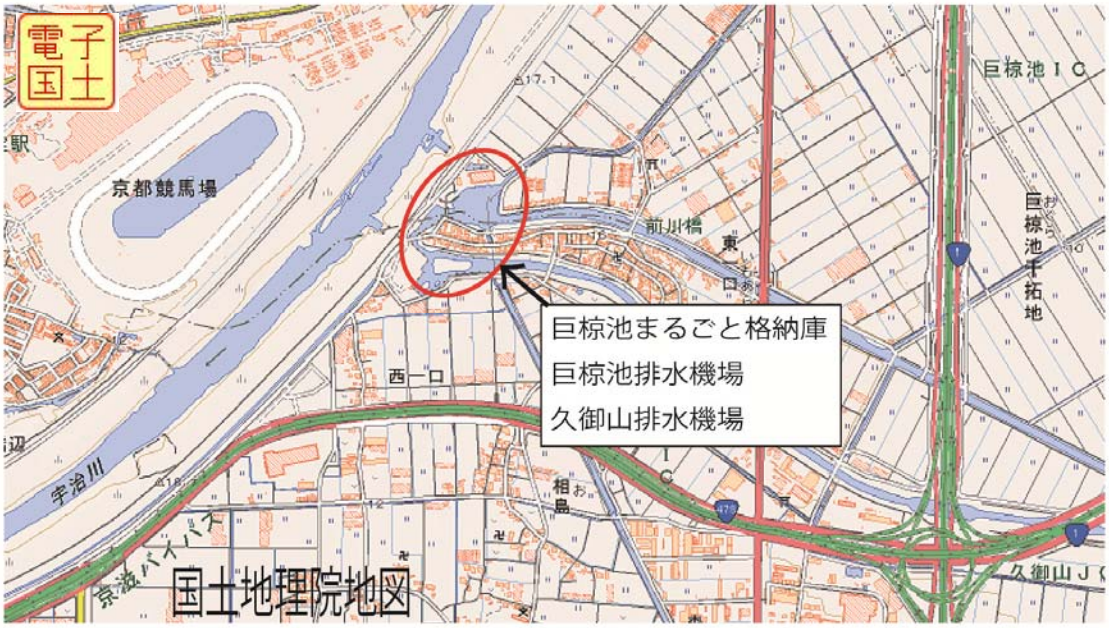
生駒市鹿ノ台 ECOKA 委員会の方々



ユニメーター(専門機器)による自宅での水質測定

5. 第 5 回古川水ウォッチング　　・　　平成 27 年 9 月 26 日(土)

5.1 実施状況

活 動 名	第 5 回古川水ウォッチング		
活動分野	防災		
氏　　名	山田　信人（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：古川を美しくする会、水辺で遊ぶ古川を美しくする会、久御山町事業建設部、国土交通省久御山排水機場、巨椋池排水機場管理協議会、城陽環境パートナーシップ、やましろ里山の会)		
活動日時	平成 27 年 9 月 26 日(土)9：40～12：30		
実施場所	巨椋池まるごと格納庫、巨椋池排水機場、久御山排水機場  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	37 名	
	参加者	26 名	大人 19 名、久御山高校自然科学部 7 名
	講師	2 名	藤井氏、奥田氏(巨椋池排水機場管理協議会)、(山田河川レンジャー)
	スタッフ	1 名	芳川氏(やましろ里山の会)
	連携団体関係者	3 名	長岡幸夫(古川を美しくする会)、大野氏(城陽環境パートナーシップ)、深田氏(やましろ里山の会)
	府県・市職員	3 名	久御山町役場事業建設部
	淀川河川事務所	1 名	施設管理課
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	9:40	開始、レンジャーから開会のコメント
	10:05	巨椋池排水機場施設見学
	11:10	国土交通省久御山排水機場施設見学
	11:50	昭和 28 年洪水の地元体験者の話
	12:10	レンジャーから古川の水質調査説明
	12:20	古川各地点の COD 総評
	12:30	終了、解散(オプション：追加水質調査の実施)
配付資料	古川とその支流の水質汚染について、駐車場案内、古川一斉水質調査、昭和 28 年宇治川の堤防切れ(レジュメ：担当レンジャー作成)、河川レンジャーNews32 号、各種巨椋池パンフレット(巨椋池排水機場管理協議会)、久御山排水機場パンフ、久御山町洪水ハザードマップ、木津川一斉水ウォッチングのチラシ	

<table>
<tr><td colspan="2">関係機関からの
支援内容</td><td>【淀川河川事務所】のぼり、パックテスト（COD（化学的酸素要求量））、屋外説明用マイク、資料等印刷、久御山排水機場説明用講師派遣(施設管理課久野氏)
【久御山町事業建設部都市整備課】会場確保、２つの排水機場と格納庫見学に伴う手配、駐車場手配
【巨椋池排水機場管理協議会】巨椋池排水機場見学会の説明
【やましろ里山の会】ＨＰでの広報、スタッフ、水質測定用器具等の提供</td></tr>
<tr><td rowspan="3">河川レンジャーの活動内容</td><td>準　備</td><td>共催団体と事前の打ち合わせ３回、チラシ作成・配布、新聞社への広報依頼、採水の依頼、水質調査の試薬等準備、下見２回、排水機場見学について久御山町都市整備課に依頼と打合せ、巨椋池管理協議会への依頼と打合せ、淀川河川事務所施設管理課久野氏と久御山排水機場見学について打合せ、前日の採水２地点</td></tr>
<tr><td>当　日</td><td>開会式の運営、巨椋池まるごと格納庫・巨椋池排水機場・久御山排水機場の見学会の全体進行、久御山排水機場での交流と意見交換会の運営、パックテストによる水質調査指導と結果のまとめ、自宅でのユニメーターによるより精度の高い水質調査</td></tr>
<tr><td>事　後</td><td>ユニメーターによる水質調査の分析とまとめ、その分析内容を中心にしたレポートの作成と参加者等の配布。（メールや郵送で）</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加者からの意見</td><td>アンケート感想文より抜粋
・企画ご苦労様です。身近な生活環境を知ることの大事さ、もっと広めたいです。
・知らないことが多すぎ、参加して非常によかった。
・見学会は有意義です。
・古川の水質がよく分かり、参考となった。
・今日は、色々なことが知れて良かったです。
・巨椋池治水問題は深刻。治水問題をもっと検討する必要がある。
・色々と知らなかったことが知れて、とてもよかった。排水ポンプは、いつも動いていると思っていたけどそうじゃなくてビックリした。堤防が決壊するのを想像すると恐ろしいと思った。
・巨椋池排水機場のポンプで、６秒で２５ｍプールの水をからに出来るということにビックリしました。外来種のカメがたくさんいたので、生態系にどんな影響があるのか気になりました。</td></tr>
</table>


山城

大きなポンプに驚き

巨椋池・久御山 排水機場の見学会

巨椋池排水機場（京都市伏見区）と近くの久御山排水機場（久御山町東一口）の見学会が26日、開かれた。参加者たちは巨椋池干拓地に降った雨水や古川の水を宇治川に流す大きなポンプに驚いていた。

木津川管内河川レンジャーの山田信人さん（66）＝宇治市大久保＝が定期開催している「古川水ウォッチング」の一環。従来は古川の散策などを行っていたが、治水への関心が高まっており、排水機場の見学会を企画した。関係する行政職員も協力した。

巨椋池排水機場は宇治市や久御山町など干拓地の水路の水が集まる。宇治川の水位が上がり、自然に流れ込まなくなった際にポンプで水をくみ上げ、放流している。見学会では1秒あたり計80トンの排水能力がある5台のポンプを見学した。山田さんらが案内役を務め、参加者たちは「一年間どれぐらい動きます か」など熱心に質問していた。

見学会の後は古川の水質検査も行った。（松村和彦）

大きなポンプを見学する参加者ら
（京都市伏見区・巨椋池排水機場）

5.2 活動状況



巨椋池ポンプ場の施設概要説明



施設見学状況(ガスタービンポンプ)



パックテスト(COD)による水質測定



古川各地点の COD 総評

6.第 5 回木津川一斉水ウォッチング・　　平成 27 年 10 月 10 日(土)

6.1 実施状況

活 動 名	第 5 回木津川一斉水ウォッチング		
活動分野	環境保全		
氏　　名	山田　信人（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：やましろ里山の会、加茂水と緑を守る会、上狛川を美しくする会)		
活動日時	平成 27 年 10 月 10 日(土)9：30～18：00		
実施場所	木津川出張所管内流域センター		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	15 名	
	参加者	10 名	大人 10 名、子ども名
	講師	－	
	スタッフ	－	
	連携団体関係者	４名	やましろ里山の会環境部会
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	１名	

スケジュール	9:30	開始、採水サンプルの持込
	9:50	壁面展示とレンジャーの説明
	10:10	レンジャーから測定の手順の説明、水質分析の開始
	11:00	当日持込採水サンプルの測定説明、ユニメータによる測定
	12:30	採水持ち込みによるパックテスト測定終了
	16:30	ユニメーターによる測定終了
	17:30	片付け終了
配付資料		木津川とその支流の水質汚染について(レジュメ：担当レンジャー作成) 河川レンジャーNews
関係機関からの支援内容		【淀川河川事務所】会場借用、アンケートや資料印刷、会場掲示用印刷物の印刷、水質調査用機材を含めた物品の搬入・搬出、のぼり、 パックテスト（COD（化学的酸素要求量）、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素） 【やましろ里山の会】水質測定機器（ユニメーター）、各種機材貸与
河川レンジャーの活動内容	準　備	共催団体のやましろ里山の会との打合せ(開催要項・取組の具体案の提示含む)、採水場所の確定と明示、連携協力団体への採水協力依頼と分担、チラシ・アンケート・資料・各種掲示物の作成、当日の展示用パネルの作成、パックテストの準備、ユニメーターによる水質調査の諸器具準備・補充、水質調査用試薬の注文、前日の機材搬入とパネル・幟掲示等の諸準備、新聞各社への活動案内記事掲載と取材依頼。
	当　日	水質調査の試薬や器具の設置、各ポイントの採水・整理、持ち込んだ水のパックテストによる水質調査指導、ユニメーターによる水質調査の指導（主にＣＯＤの測定と指導)、器具の洗浄指導、試薬や器具の片付け
	事　後	やましろ里山の会環境部会での水質データの算出や汚染マップ作成指導、水質汚染マップの分析とまとめの作成、まとめを関係者に配布 汚染マップのポスター展示(木津川沿川活動団体交流会など)
参加者からの意見		調べて欲しい水の持ち込み企画では、上流にある伊賀川の笹瀬橋の採水を持ち込まれた方があった。「笹瀬橋地点の汚れがあまりなくて、一安心。いい天気が続いていたので、橋の上から見た水は澄んでいました。」と感想を寄せて頂いた。 その他の感想としては、「ワンドなどがあり、川遊びが出来る場所がある木津川にしたい。支流でないと無理かな・・。」「水質がきれいになり、アユが棲める川にしたい。」等 　又、昨年に続いて元木津高校化学部の 2 名が参加。大きな力になって頂いており、次回の協力もお願いした。

6.2 活動状況



これまでの調査結果の解説



レンジャーから測定の手順の説明



ユニメーターによる測定



参加者による測定

○田中河川レンジャー（上半期）活動報告
7. 平成 27 年度　河川レンジャー活動の目的と達成手段

7.1 活動の目的

①木津川は日本でも有数の砂河川であるが、上流域のダム、治山事業や下流の河川改修、砂採取の影響で砂の量が減っている。かつては木津川でも川砂取りが行われていた。
②そのため現在では木津川は深刻な「河床低下」状態になっている。澪筋の固定化、高水敷の樹林化、ワンドやタマリの減少など、かつての木津川の原風景が失われつつある。
③河床低下にともない生物相も木津川本来のものより変化してきている。
④木津川は広大な河川敷のわりにアプローチが容易ではなく、地域住民のとっても案外存在の遠い川である。
以上の課題認識から、
木津川の豊かな河川環境を守るためには木津川の河床低下問題の解消が必須と考え、砂河川再生のために地域住民が木津川に親しむ機会を作り、問題意識を高め、砂河川再生への提案をおこなうことを活動目的とする

7.2 活動テーマと活動

Step1 木津川の河川環境の豊かさと、河床低下問題を知らせる
Step2 砂河川再生の必要性への問題意識を高める
Step3 木津川沿川住民と一緒に、砂河川再生のため総合土砂管理の在り方を行政に提案する

「木津川は、水といっしょに、砂も流れる川」

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	①川の自然観察会「バッタのオリンピック」「野鳥観察会」 ・木津川の河川環境の豊かさを体感し砂河川だからこそ生息できる生物がいることを知らせる。 ②川の構造物見学会 ・川の構造物を通して木津川の特長と課題を知らせる。近鉄鉄橋と河床低下、樋門工事と砂堤防断面見学、高山ダム見学など、河床低下の現場や治水施設を見学し、人間が川と共生できる将来像を考える。 ＊以上の活動を通してコアな常連参加者をブレーンとすることを活動成果とします。					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①木津川川ガキ団水辺活動と近畿「子どもの水辺」交流会発表 ・参加親子と共に木津川の地形調査と生き物調査、地域住民から河床低下の実感を取材し住民の望む木津川像を明らかにし、木津川の特長と課題を考える。これらの成果を交流会で発表し、地域住民にもフィードバックする。 ②上流域との交流 ・木津川上流下流で川を大切にする気持ちと問題意識を共有するため、相互交流・意見交換の場を設ける。木津川上流河川レンジャーと共同で活動をおこなう。「木津川は一本！」 ＊砂河川再生に向けた機運作りと合意形成を活動成果とします。					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①砂河川再生ワーキンググループの活動を開始 ・木津川水辺調査を継続し、モニタリング結果を積み上げる。 ・木津川上流との相互交流・意見交換を継続。 ・河床低下に関する意見交換会を実施する。 ②淀川流域総合土砂管理ワーキンググループへの提言 淀川河川事務所・淀川流域総合土砂管理ワーキンググループに対して、沿川住民の意見を河川行政に発信するための取りまとめを進める。 ＊淀川流域総合土砂管理ワーキンググループへの提言を活動成果とします。					

平成 27 年度の活動一覧

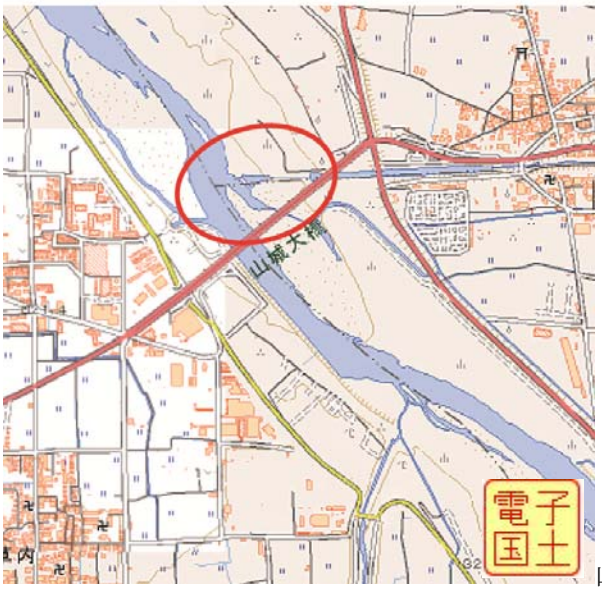
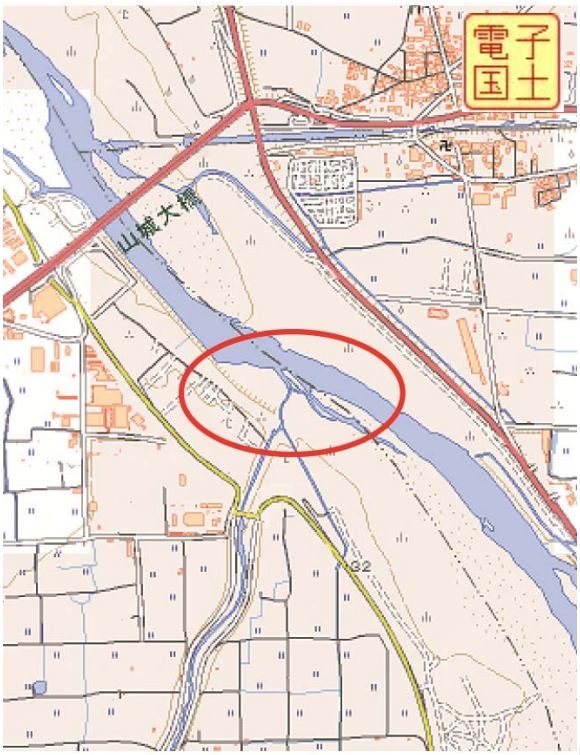
活動分野	活動名	実施時期
（１）防災・救援・救難の推進を図る活動	**地域で考えよう！防災**	秋頃
	親子水辺の安全講習会 出前講座 小学校連携でライフジャケット着用体験指導	7 月
（２）河川の環境保全を図る活動	川の自然観察会 「野鳥観察会」「木津川バッタのオリンピック」	4 月～1 月
	木津川クリーンアップ	5 月
	木津川川ガキ団水辺活動 ～生き物調査、地形調査、地域住民への河床低下ヒアリング、安全指導、発表制作～	4 月～1 月
（６）河川に関わる歴史・文化の普及・啓発活動	川の構造物見学会	5 月
	木津川展	2 月
	木津川マラソン河川レンジャー展	2 月
	近畿「子どもの水辺」交流会への発表参加	未定
（７）河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネートを図る活動	上流域との交流	8 月
	木津川沿川活動団体交流会	1 月
	親子花見乗船体験 木津川展	4 月

※網掛は連携活動

8.木津川川ガキ団水辺活動　　・平成 27 年 4 月～9 月

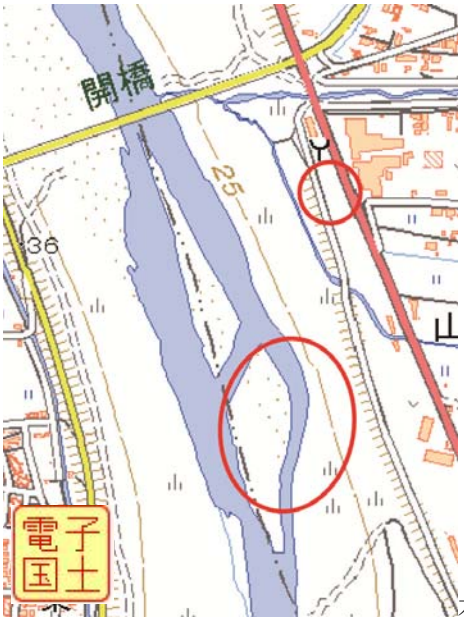
8.1 実施状況

活動名	2015 年度「子どもの水辺」山城大橋ワンド継続調査		
活動分野	自然観察		
氏　　名	田中　実知世（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：NPO やましろ里山の会、木津川漁業協同組合)		
活動日時	平成 27 年 4 月 25 日(土) 13:00～17:30 平成 27 年 5 月 6 日(水祝)　13:00～17:30 平成 27 年 5 月 23 日(土)：13:00～17:00 平成 27 年 6 月 13 日(土)：13:00～17:00 平成 27 年 6 月 21 日（日）:13:00～17:00 平成 27 年 7 月 5 日（日）:14:00～17:00 平成 27 年 7 月 20 日（月祝）:9:30～17:00 平成 27 年 8 月 1 日（土）:13:00～17:00 平成 27 年 9 月 19 日(土)：14:00～17:00		
参加人数	参加総数	4 月 25 日(土)　15 名 5 月 6 日(水祝)　14 名 5 月 23 日(土)　12 名 6 月 13 日(土)　6 名 6 月 21 日（日）　3 名 7 月 5 日（日）　13 名 7 月 20 日（月祝）　14 名 8 月 1 日（土）　3 名 9 月 19 日(土)　6 名	86 名
	参加者	4 月 25 日(土)：一般参加 14 名 5 月 6 日(水祝)：一般参加 14 名 5 月 23 日(土)：一般参加　12 名 6 月 13 日(土)：一般参加　3 名 6 月 21 日（日）：一般参加　8 名 7 月 5 日（日）：一般参加　14 名 7 月 20 日（月祝）：一般参加　14 名 8 月 1 日（土）：一般参加　3 名 9 月 19 日(土)：一般参加　6 名	86 名
	講師		－
	スタッフ	4 月 25 日(土)：3 名（やましろ里山の会木津川部会：原氏、矢放氏、長谷川氏） 5 月 6 日(水祝)：5 名（やましろ里山の会木津川部 会：原氏、矢放氏、長谷川氏、菊池氏、田中氏） 5 月 23 日(土):4 名（やましろ里山の会木津川部 会：原氏、矢放氏、長谷川氏、菊池氏） 6 月 13 日(土):3 名(やましろ里山の会木津川部会：矢放氏、長谷川氏、菊池氏） 6 月 21 日（日）：3 名(やましろ里山の会木津川部会：矢放氏、長谷川氏、菊池氏） 7 月 5 日（日）:6 名（木津川漁協：水島事務長、北森夫妻、やましろ里山の会木津川部会：矢放氏、長谷川氏、菊池氏） 7 月 20 日（月祝）:4 名（やましろ里山の会木津川部会：矢放氏、長谷川氏、菊池氏、雨嶋レ	33 名

		ンジャー） 8 月 1 日（土）：2 名（やましろ里山の会木津川部会：長谷川氏、菊池氏） 9 月 19 日（土）：　3 名（やましろ里山の会木津川部会：原氏、矢放氏、長谷川氏）	
	連携団体関係者		－
	府県・市職員		－
	淀川河川事務所		－
	運営事務局	１回のべ１名	１名
スケジュール	4 月 25 日の場合（そのほかの日は割愛しました）		
	13:00 14:30 16:30 17:00	集合、木津川センターで今年度の活動の確認 参加者によるワンド観察 対岸・左岸の新しいワンド調査 レンジャーによるまとめ	
実施場所	山城大橋下流右岸ワンド 山城大橋下流左岸新しいワンド		



加茂町木津川漁協組合員さん宅



木津川流域センター付近　木津川本流、鳴子川

8.2 事前活動

各種資料	4 月 25 日(土):「子どもの水辺」ニュース、レンジャーNews 7 月 5 日 (日):木津川漁協組合員・北森氏所蔵の昔の漁具 7 月 20 日 (月祝):昔の漁具見学宿題結果、まち網作り材料
関係機関からの支援内容	4 月 25 日(土):淀川河川事務所よりライフジャケット、レンジャーNews 5 月 6 日(水祝):淀川河川事務所よりライフジャケット 5 月 23 日(土):淀川河川事務所よりライフジャケット 6 月 13 日(土):淀川河川事務所よりライフジャケット 6 月 21 日 (日):淀川河川事務所よりライフジャケット 7 月 5 日 (日):淀川河川事務所よりライフジャケット、木津川漁協より昔の漁具の見学 7 月 20 日 (月祝):淀川河川事務所よりライフジャケット 8 月 1 日 (土):淀川河川事務所よりライフジャケット、テント 9 月 19 日(土):淀川河川事務所よりライフジャケット
レンジャーの活動内容	●各活動の前に準備物としてライフジャケット、スローロープの準備、必要な場合は配布物を準備した。 4 月 25 日(土):今年度の活動予定の確認。これまで活動してきた山城大橋ワンドで生き物と地形の調査。砂洲が昨年秋より広がっている。今年の春は水温が比較的あたたかいからか、例年同時期より魚が豊富。産卵前のゼゼラが多数。左岸の新しいワンドにも移動。エリア確認と生き物調査。 5 月 6 日(水祝):今回は更に水位が下がり、ワンドは魚とり苦戦。本流の浅瀬でカマツカ、ヨシノボリ捕獲。対岸新しいワンドではゼゼラをまた確認。 5 月 23 日(土):この春は木津川の水位が低く渇水状態である。しかしワンドでは各種稚魚が確認できる。ナマズも例年より早く見られた。また本流は前回に引き続き産卵前のヨシノボリが多数。子どもたちがクワの実がたわわに実っているのを発見。即席の収穫体験に。砂洲では少ない流れをワンドの下流側に通そうと子どもたちが土木工事。 6 月 13 日(土):数日来の降雨の影響でワンドの砂洲の多くは水没。しかし歩いて渡れ、ダムの放流状況から水位は下がる一方であると判断し入った。水没した草の根元でニゴイ、コイ、フナ、ゼゼラ稚魚が多数とれた。特定外来種のコクチバス稚魚も確認。スッポン赤ちゃんも捕獲。確実に稚魚が育つシーズンになっている。 6 月 21 日 (日):午前中Gレンジャーの開橋魚とりが降雨の影響でなくなり、せっかくスタッフが集まったので増水直後のワンドを調査した。予想通り稚児多数確認。 7 月 5 日 (日):かねてより川ガキ団のみんなから希望の出ていた「昔の漁具見学」を木津川漁協の協力で実現できた。昔、といっても数十年前までは川で漁をしていた事、木津川への思いを聞かせてもらった。その後開橋上流右岸で生き物調査。コクチバス稚魚多数。 7 月 20 日 (月祝):前回見学させてもらった昔の漁具のうち、「まち網」をみんなで作った。事前に用意した材料で自分たちで縫って仕上げた。そして実際に川に出て漁をした。 8 月 1 日 (土):夏場の渇水のワンドでの活動であった。しかし2週間前には増水があり流木が流れ着いていた。生き物調査は本流浅瀬で実施。 9 月 19 日(土):ワンドで生き物調査。秋の川になり、それぞれの生き物が夏の間に成長していることを確認。 ●各活動のあとに「水辺ニュース」作成まとめと配信をおこなった

8.3 活動状況

4 月 25 日（土）



ワンドにて地形変化の確認と生き物調査



左岸新しいワンドでもエリア確認と生き物調査

5 月 6 日（水祝）



ワンドは水不足で本流の浅瀬で調査



対岸新しいワンドも本流で調査

5 月 23 日(土)



本流浅瀬で追込み漁





ワンドで土木工事、流路変更と堤防工事

6 月 13 日(土)





ワンド増水直後の生き物調査



稚魚を多数確認



6 月 21 日（日）

午前の他レンジャー活動は中止になったがワンドは安全に活動できた

7 月 5 日（日）



昔の漁具の見学し、昔の川の様子を学習

7 月 20 日（月祝）



まち網をみんなで制作した



鳴子川で実際に漁をし、効果を検証

8 月 1 日（土）





夏場の渇水のワンドで調査　　婚姻色の出たオイカワ

9 月 19 日(土)



ワンドでの生き物調査の様子

8.4 意見・課題

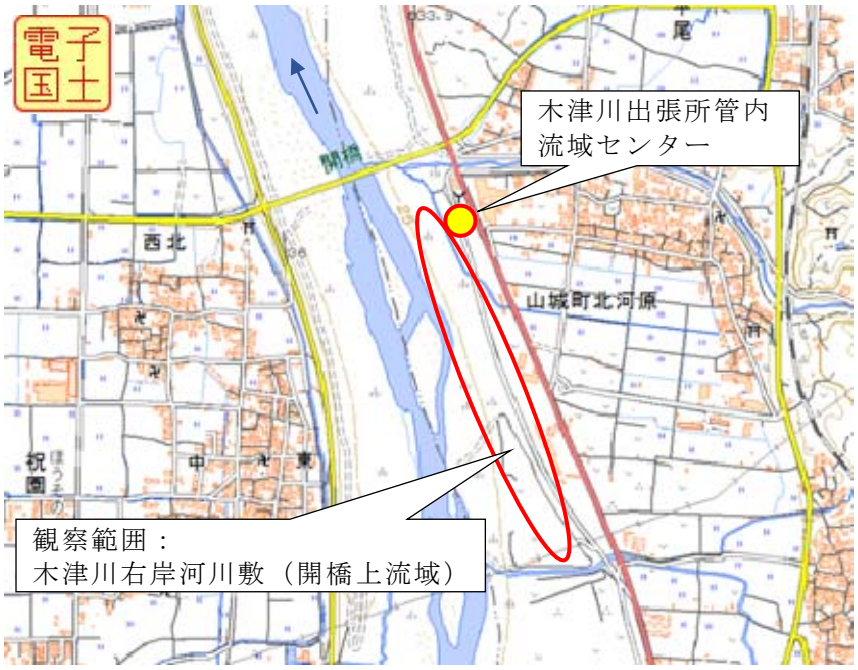
参加者からの意見	4 月 25 日(土) ・ワンドは砂が広がっていた。このままいけば陸地になるのだろうか。 ・ゼゼラが生息していて、産卵もしそうで楽しみだ。 ・対岸の新しいワンドは、川が入り組んでいて、浅い所、深い所、泥タマリなど色々な環境があって魚が入りそうだ。 5 月 6 日(水祝) ・今日は水が少ない。今年は春に長雨が少なかった。砂洲を掘ったら水が染み出てきた。砂洲の中にも川が流れていた。 ・本流で大きなカマツカがとれてよかった。 ・ゼゼラとヨシノボリがお腹に卵を持っている。無事に産卵してほしい。 ・砂洲で砂にうもれていた塩ビパイプの破損したものを発見。踏んだら危険。川では針金、ガラスなどとがったものが落ちていることがあるのえ注意が必要。 5 月 23 日(土) ・土木工事で川を付け替えたのが楽しかった。長い水路を掘るのは大変だったけど、大人も子どもも一緒に作った。 ・大きなドンコがかわいかった。 ・コイとフナの稚魚の見分け方を菊池くんに教わった。 6 月 13 日(土) ・ワンドが水没していてびっくりした。数年前ではこれだけ水没していたら流れを渡る時に流されそうで危険であったが、今年は砂が入って浅くのっぺりとなったので歩いて安全にわたる事ができる。 ・色々な稚魚がよくとれた。水が多いとワンドに入るのがわかる。 ・川流れが楽しかった。ライフジャケットの浮き方を復習できた。 6 月 21 日（日） ・午前中のレンジャー活動は増水で中止になったが、午後からワンドでは安全に活動できた。 ・ナマズ、ニゴイ、フナ、オイカワなど稚魚のサイズが全体的に大きくなっている。成長が見てとれる。 7 月 5 日（日） ・木津川漁協の方々のお話から、昔の人は木津川を楽しい場所、川の恵みをいただく場所としてとても大切に思ってきた事がよくわかった。いつくしむように川の話をされるご夫婦の表情が印象的であった。環境は悪化したであろうが、我々も木津川を大切にしないといけないと思った。

	・開橋ではコクチバス稚魚が多く、木津川ではオオクチバス、ブルーギル以上に繁殖していると思う。 ・釣り針を飲み込んだアカミミガメを見つけた。可哀そうだ。 7 月 20 日（月祝） ・まち網作りは、子どもたちも一生懸命取り組んだ。 ・実際川で使ってみて、あまりたくさんはとれなかったけど、小さな魚はよく入った。 ・設置して追込みしていると、網の隙間から魚が逃げるようで、改良の余地が多分にあった。 8 月 1 日（土） ・夏場の木津川は、水が渇水で少なく砂も焼けるので、とにかく暑かった。レンジャー事務局のテントがあって良かった。 ・婚姻色の出たオイカワがきれいだった。 9 月 19 日(土) ・ウキゴリがとれてびっくりした。ウキゴリは上流と海とを回遊している魚で今までも何回かとれているが、木津川でもずっと生きていることがわかりうれしかった。 ・死んでいる鮎の内臓を解剖で調べた。まだ卵があった。 ・今年ワンドでスッポンの赤ちゃんが見つかるのは 2 度目。どこで産卵しているのだろう？お腹が真っ赤であったが、これはまだ生まれたてで養分をお腹に持っている証拠。
今後の課題	木津川川ガキ団の子どもたちは、ちょうど小学校卒業をむかえるメンバーが続き、人数が減少傾向である。今年度、予測される状況を参加者に説明し、今年度に新規メンバーの補充をするにあたり公募するかどうか図ったが、公募ではなく友人知人関係より川に興味のある親子を集めたいとの意見が大半であった。メンバーの意見より募集チラシを作成、広報につとめ、数組の新規メンバーをむかえられた。次年度以降どのようにすべきか検討中である

9. 春の野鳥観察会　　・平成 27 年 4 月 25 日(土)

9.1 実施状況

活 動 名	春の野鳥観察会		
活動分野	自然観察		
氏　　名	田中　実知世（木津川出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成 27 年 4 月 25 日(土)　9:00～12:00		
実施場所	木津川出張所管内流域センター、木津川右岸河川敷（開橋上流域）		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	19 名	
	参加者	17 名	大人 9 名､子ども 8 名
	講師	1 名	植田光弘 氏（自然体験活動協議会 インストラクター）
	スタッフ	名	
	連携団体関係者	名	
	府県・市職員	名	
	淀川河川事務所	名	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	



スケジュール	9:00	開始 ・挨拶、活動趣旨･内容説明、注意事項、講師紹介（田中河川レンジャー） ・野鳥観察時のポイント、留意点説明（植田講師）
	9:20	観察開始（流域センター出発） ・河川敷へ移動しながら発見した野鳥を随時観察
	11:20	観察終了（流域センター帰着） ・休憩
	11:30	鳥合わせ ・観察種のふりかえり、まとめ（田中河川レンジャー） ・標本を用いながら観察種と「ものさし鳥」解説（植田講師）
	12:00	終了
配付資料		・「春の野鳥観察会」しおり ・野鳥観察リスト（過去実施の観察結果と今回の観察チェックリスト） ・活動実施アンケート ・河川レンジャーNews32
関係機関からの支援内容		【やましろ里山の会】

		観察器具貸与（フィールドスコープ）、 【淀川河川事務所】 講師派遣、資料印刷・提供
河川レンジャーの活動内容	準　備	プログラム作成、講師依頼・打合せ、 関係機関への支援依頼・調整（観察器具貸与） 広報、現地下見、資料・アンケート作成と印刷依頼
	当　日	天候状況確認と実施判断、配付資料準備、観察器具準備、 当日の運営(司会、参加者誘導、安全管理)、後片付け
	事　後	参加者名簿の整理、アンケートまとめ、活動内容まとめ
参加者からの意見		・木津川の河川敷が意外に広いことに驚きました。 ・たくさんの鳥をじっくり見られて楽しい時間でした。 ・今日も色々観察出来て楽しかったです。先生のおっしゃる「見て聞いて観る」という事が難しいなあと感じました、春と冬では鳥の種類も違うので、また参加したいです。 ・残念石のことを初めて知りました。

9.2 活動状況



観察状況
移動しながら、発見した野鳥を随時観察



観察状況
観察種ごとに適宜講師による特徴、生態の解説



木津川流域センター近くにある淀川の「残念石」の解説



観察後、流域センターで鳥合わせ
（観察種のふりかえりとまとめ）

10.親子水辺の安全講習会　・　平成 27 年 7 月 13 日(月)

10.1 実施状況

活 動 名	親子水辺の安全講習会　左京小学校ライフジャケット講座		
活動分野	防災		
氏　　名	田中　実知世（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：左京小学校)		
活動日時	平成 27 年 7 月 13 日(月)10：50～11：50		
実施場所	奈良市立左京小学校：奈良市左京３丁目 1-1		
参加対象	左京小学校５学年		
参加人数	参加総数	50 名	
	参加者	48 名	教師 4 名（校長先生、５年担任２名、特別養護学級担任１名)、5 年生 44 名
	講師	－	
	スタッフ	－	
	連携団体関係者	－	
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	1 名	木津川出張所
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	10：00	ライフジャケット小学校搬入（運搬・木津川出張所）
	10:50	開始、河川レンジャーの紹介、水辺の安全について水難事故の事例をあげて説明と注意喚起、ライフジャケットの使用目的や使用方法について説明
	11:10	ライフジャケット装着の注意点
	11:20	プール入水、ライフジャケット泳の体験
	11:25	ライフジャケット装着時の川での流され方体験
	11:35	着衣泳体験
	11:50	終了、解散
	15：00	乾燥させたライフジャケットを小学校より搬出（運搬・木津川出張所）
配付資料		川の安全啓発パンフ、木津川ものがたりリーフレット、アンケート
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所より、ライフジャケット、スローロープ、レンジャー旗の貸与 配布資料の印刷、必要物品の運搬
河川レンジャーの活動内容	準　備	左京小学校と授業内容打合せ 説明パネル作成
	当　日	水辺の安全講習会（左京小学校出前授業）実施 ライフジャケット・必要物品の搬入搬出（運搬・木津川出張所）
	事　後	報告書まとめ
参加者からの意見		左京小学校５年担任の先生方より 「このたびは貴重な授業をしていただき、ありがとうございました。子どもたち川や海での安全に対する危機管理意識が変わったと思います」 以下子どもたちの感想。 ・川のこわさを知ったし、プカプカ浮いて楽しかった。 ・ライフジャケットは命を守るという事がわかりました。 ・来年も次の５年生にライフジャケットのことを教えてあげてください。 ・ライフジャケットをつけると、つけない時よりも体力を使わないで浮ける事が学べました。川のどこが危ないか、どんな時が危ないか、丁寧に教えてくださってありがとうございました。今回の勉強を実際に海や川に行く時に活用したいと思いました。

10.2 活動状況



レンジャーから川遊びの注意点説明



ライフジャケット装着の注意点説明



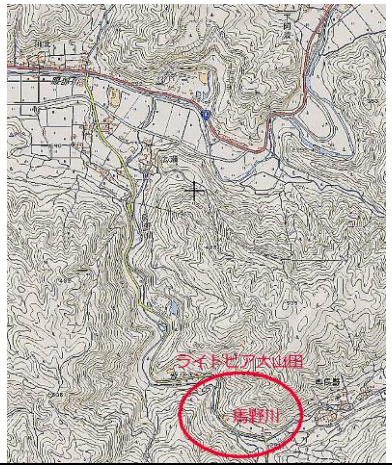
ライフジャケット装着時の川での流され方体験



着衣泳体験

11. 木津川上下流交流・　　平成 27 年 7 月 26 日(日)

11.1 実施状況

活 動 名	木津川上流子どもサミットとシャワークライミング		
活動分野	自然観察		
氏　　名	田中　実知世（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：依那古探検隊(木津川上流)、子と川とまちのフォーラム(京都市内))		
活動日時	平成 27 年 7 月 26 日(日)11：00～15：00		
実施場所	ライトピア大山田：伊賀市奥馬野 17～馬野川周辺、大山田せせらぎ公園（古琵琶湖学習）  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	127 名	
	参加者	118 名	木津川管内河川レンジャー23 名、依那古探検隊 62 名、子と川とまちのフォーラム 33 名
	講師	－	
	スタッフ	3 名	山口河川レンジャー、菊池氏、田中氏(やましろ里山の会)
	連携団体関係者	6 名	西河川レンジャー含む 2 名(木津川上流)、子どもと川とまちのフォーラム　吉田副理事長、小丸理事、木津川上流河川レンジャー事務局　2 名
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	8：00	木津川下流参加者　木津川流域センター集合、ライフジャケット配布、出発
	11:00	開始、レンジャーとスタッフから活動にあたって注意点
	11:20	馬野川に入る開始、上流に向かってシャワーウオーク、農業分水にて川下り
	11:50	レンジャーから渓流歩きの指導、参加者児童の渓流歩き
	12:30	堰での川下り
	12:50	ジャンプしてドボン
	14:20	室内で川の学習、木津川川ガキ団、依那古体験隊、子どもと川とまちのフォーラム 3 団体の意見交流
	15:00	終了、後片付け
	16:00	(オプション希望者)大山田せせらぎ公園に移動、古琵琶湖河床遺跡を見学
配付資料		当日タイムスケジュール、走行ルートマップ
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所木津川出張所→木津川上流河川事務所との調整、ライフジャケット貸与。木津川上流河川レンジャー西氏→活動全般の企画立案、上下流連携調整。依那古体験隊→活動運営。

河川レンジャーの活動内容	準　備	現地下見 下流からの参加者募集と諸連絡 ライフジャケット準備 ※今活動は当初予定は馬野渓谷でのシャワークライミングであったが、降雨による増水で場所を１キロ下流に移し、渓流上り、渓流遊びでの実施となった。安全に活動できる場所、内容を上下流レンジャー間で調整した
	当　日	活動運営全般。下流からの参加者は、大人は全員、安全担当・水生生物調査と説明など役割を果たしつつ活動に参加した
	事　後	感想集約 報告書作成
参加者からの意見		・シャワークライミングができなかったのは残念だったけど、ライトピア大山田前の渓流でも十分楽しめた。木津川上流の自然や川のきれいさを体感した。 ・沢登り、水路での川流れ、川滑り、飛び込みなど思い切り遊べた。 ・上流は岩がごつごつしていて、砂の多い下流とは大違いだった。 ・上流の人たちにお世話になった。 ・下流とは違う魚がいておもしろかった。 ・川で活動する他の団体のことがわかってよかった。 ・大山田に昔、琵琶湖があったと教えてもらいびっくりした。

11.2 活動状況



レンジャーとスタッフから活動にあたって注意点



参加者児童の渓流歩き

12.バッタのオリンピック　・　　平成 27 年 9 月 23 日(水・祝)

12.1 実施状況

活 動 名	バッタのオリンピック		
活動分野	自然観察		
氏　　名	田中　実知世（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：NPO 法人こどもと虫の会、佐用町昆虫館子ども昆虫道場、やましろ里山の会)		
活動日時	平成 27 年 9 月 23 日(水・祝)：10：00～13：00		
実施場所	城陽市水主地先木津川河川敷  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	42 名	
	参加者	32 名	大人 11 名、子ども 21 名
	講師	2 名	金子　留美子氏(NPO 法人こどもと虫の会理事、佐用町昆虫館子ども昆虫道場主宰)、谷　幸三氏(オブザーバー)
	スタッフ	1 名	西氏(木津川上流河川レンジャー)、
	連携団体関係者	5 名	田中秀行氏、矢放健一氏、矢放七海氏、柳原志穂氏、菊池正臣氏(以上やましろ里山の会)、
	報道関係者	1 名	京都新聞社
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	10:00	開始、レンジャーから開会のコメント
	10:35	参加者移動開始、親子でバッタの採取
	10:50	新聞社の取材
	11:00	カワラバッタの採捕
	11:40	講師と参加者による昆虫の種の確認
	11:55	バッタのオリンピック、ジャンプ開始、スタッフによる飛距離の計測
	12:20	バッタのリリース、木津川上流レンジャー、講師、谷先生の話
	12:45	講師からメダルの授与、アンケートの記入
	12:55	閉会のコメント、終了、解散

配付資料		バッタのオリンピック、カワラバッタの復活、河原のバッタ絵ときけんさく、エントリーシート、アンケート用紙(レジュメ：以上担当レンジャー作成)、ひょうごのばった(冊子：以上講師提供)
関係機関からの支援内容		木津川出張所→チラシ印刷、当日配布書類印刷、メダル作成、テント・レンジャー旗・スピーカー・巻尺など当日準備物用意、参加者駐車場を城陽市教委・文化スポーツ推進課のご厚意で手配 NPO 法人子どもとむしの会→「ひょうごのバッタ」冊子参加者全員に提供
河川レンジャーの活動内容	準　備	募集チラシ作成、印刷、広報およびチラシ配布 現地下見（7 月～9 月数回、カワラバッタ生態を確認のため)、ゴルフ愛好者に当日当時間ゴルフ自粛と参加のお願い
	当　日	活動運営。
	事　後	報告書作成 9 月 24 日翌日の京都新聞にて当日の様子の記事掲載（記事データ掲載）

参加者からの意見	・久しぶりに子どもと夢中でバッタを追いかけて楽しかった ・身近な木津川にカワラバッタという絶滅寸前種が残っているという事に驚いた ・カワラバッタのはねがきれいでした ・トノサマバッタの川越えジャンプにびっくりした ・予想以上にオリンピックが盛り上がった ・河原でバッタとりをしたのは初めてだったが、とても楽しかった。木津川とバッタのことがよく知れてよかった

12.2 活動状況



親子でバッタの採取



講師による昆虫の種の確認



バッタのリリース

2015年(平成27年)9月24日　木曜日

飛べ！「バッタ五輪」

捕獲し距離・時間競う　最長は31・1メートル

城陽の木津川河川敷

バッタを飛ばし、飛距離や滞空時間を競う「バッタのオリンピック」が23日、城陽市水主の木津川河川敷で開かれた。参加した親子約50人がさまざまなバッタを捕獲し、大ジャンプに歓声を上げた。

砂地や草地に恵まれた木津川河川敷に生息する多様なバッタを知ってもらおうと、城陽市出身で川に親しむ体験学習やイベントを企画する河川レンジャーの田中実知世さん＝奈良市＝が毎年催している。

参加者は生態や種類を学んだ後、虫網を手にバッタ探しを開始。府の絶滅危惧種に指定され、飛んだ時に見える青白い羽が特徴のカワラバッタを見つけると、夢中になって追いかけた。

子どもたちは捕まえたバッタから1匹を選び、スタート台に置いた。この日の最高記録は、風に乗って飛距離を伸ばしたカワラバッタのオスの31・1㍍。ジャンプ力で群を抜くトノサマバッタは着地までの滞空時間を計測した。最長はメスの24・5秒で、木津川を飛び越える大跳躍が参加者を驚かせた。

精華町の精北小3年西村海星君（9）は「初めて見たカワラバッタはきれいな羽でかっこよかったけど、もう少し飛んでほしかった」と話していた。

（柿木拓洋）



捕まえたバッタをスタート台に置いて飛距離を競う子どもたち（城陽市水主・木津川河川敷）

○柴垣河川レンジャー（上半期）活動報告
13. 平成 27 年度　河川レンジャー活動の目的と達成手段

13.1 活動の目的

①暮らしの中を流れる川にふさわしい川づくりをめざす。
②誰もが気軽に川で遊んだり、泳いだりできる川にする。
③川が地域住民の生活の一部となるような環境づくりに取り組む。
④川にかかわりのある様々な個人や団体との繋がりを深める。
⑤これらの実現のために、多様な事業をすすめる。

13.2 活動の目標

Step1 川にかかわりのある様々な個人や団体との連携強化をはかる。

Step2 誰もが気軽にかかわれる川づくりをめざす。

Step3 地域住民の生活の一部になる河川環境をつくる。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1 期		2 期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1　地域住民の関心を高める	①木津川クリーンアップ ・地域に清掃を呼びかけ、川や河川敷の美化に努める。 ②ホタル見学会 ・ホタル愛好家の協力を得て、地域住民の参加で豊かな自然の体感をはかる。 ③バードウオッチング ・鳥愛好家の協力を得て、地域住民とともに自然、鳥、生き物への関心を深める。					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①河川敷美化作業 ・木津川を美しくする会、漁業組合、地域再生プロジェクトチーム、地域住民が協働して河川敷を美化作業することにより、川や河川敷に対する関心を持つ。 ②稚鮎の放流 ・保育園、漁業組合と協働して、稚鮎の放流をすることにより、保育園児の木津川への興味や関心を育む。					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①京むらまつり ・各種団体で構成する実行委員会が親水公園で行うイベントに参加し、川や河川敷のより良いあり方を考える。 ②ダム〔堰〕および魚道の視察および検討会 ・地域住民、漁業組合、学術研究者の参加を得て、総合的な意見交換会を実施し、天然鮎の正常な育成の促進をはかる。					

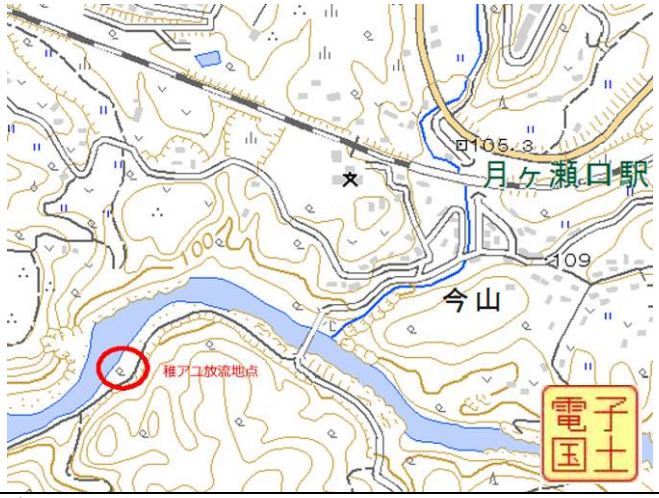
平成 27 年度　活動分野と活動名

活動分野	活動名	実施予定
防災・救援・救難推進をはかる活動	**防災訓練**	10 月
河川の環境保全をはかる活動	**木津川クリーンアップ** **鮎遡上の現地見学会**	5 月 5 月
	河川敷美化作業 **産卵場の探索と鮎捕獲作戦**	7 月 9 月
河川の適正な利用の推進をはかる活動	ホタル見学会	6 月
	バードウオッチング　2 回	10 月、3 月
	外来魚駆除	6 月
河川行政と住民とのコーディネイト	稚あゆの放流	5 月
	木津川沿川活動団体交流会	1 月
	木津川マラソン展示 鮎産卵場の親魚保護区の検討会 ダムおよび魚道の視察および検討会	2 月 9 月 8 月
	木津川展 **流下仔魚の流下状況の観測と検討会**	2 月 12 月
川づくり・まちづくりへの参画	京・むらまつり	7 月
	京都環境フェスティバル **木津川市夏祭**	10 月 7 月

※網掛は連携活動

14. 稚アユの放流　　・　　平成 27 年 5 月 19 日(火)

14.1 実施状況

活 動 名	稚アユの放流		
活動分野	啓発、自然観察		
氏　　名	柴垣　治男（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：木津川漁業協同組合(増殖事業あゆ放流))		
活動日時	平成 27 年 5 月 19 日(火)10：00～10：30		
実施場所	木津川笹瀬橋下流左岸 		
参加対象	南山城保育園園児		
参加人数	参加総数	35 名	
	参加者	26 名	保育引率 5 名、園児 21 名
	講師	－	
	スタッフ	1 名	大杉氏
	報道関係者	1 名	精華町ケーブル TV
	連携団体関係者	5 名	木津川漁業協同組合
	府県・市職員	1 名	南山城村役場
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	10:00	園児到着、開始
	10:05	レンジャーから水辺の安全について説明
	10:10	園児によるアユの放流開始、ケーブル TV の取材、役場職員取材
	10:25	雨のため園児退場
	10:30	終了、後片付け
配付資料		川の生き物が印刷されたファイル、豊かな清流ふるさとの川-マグネット
関係機関からの支援内容		木津川漁業協同組合員　草刈、整地、放流の準備、鮎の運搬
河川レンジャーの活動内容	準　備	放流場所の整備、レンジャー旗立て、水槽、
	当　日	・雨で増水しているので、放流場所を新たに整地。通路の整備。 ・少雨のため保育園と連絡。これから出発を確認。 ・放流鮎を運ぶ車到着。組合役員と放流の手はずを確認。 ・保育園児到着。開始。挨拶の後、7 人ずつ 3 列に並び放流の仕方について説明。 ・1 列目から順番に放流。小さいバケツに入れた 10 匹ほどの鮎を手でさわってみる。1 匹ずつ川に放流する。 ・感想を聞く。鮎についての話をする。川についての話をする。
	事　後	保育園児からの感想を保育士から聞く。
参加者からの意見		楽しかった。来年もお願いしたい。

14.2 活動状況



レンジャーから水辺の安全について



園児によるアユの放流開始





園児によるアユの放流

15. ホタル見学会　　・平成 27 年 6 月 28 日(日)

15.1 実施状況

活 動 名	ホタル見学会		
活動分野	自然観察		
氏　　名	柴垣　治男（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催（団体名：NPO 法人花鳥の郷をつくる会）		
活動日時	平成 27 年 6 月 28 日(日)　18:50～21:00		
実施場所	南山城村童仙房野殿（のどの）　野殿川  		
参加対象	地域住民（南山城村および周辺市町村）		
参加人数	参加総数	47 名	
	参加者	39 名	大人 34 名、子ども 5 名
	講師	―	
	スタッフ	―	
	連携団体関係者	7 名	NPO 法人花鳥の郷をつくる会
	府県・市職員	―	
	淀川河川事務所	―	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	18:50	開始（南山城村やまなみホール駐車場） ・河川レンジャー挨拶、活動趣旨説明、行程説明 ・活動時の注意事項説明
	18:55	観察するゲンジボタル、ヘイケボタルの解説
	19:15	観察地へ移動
	19:35	観察地到着
	19:40	ホタルの生息環境にについて解説
	19:50	観察開始
	20:30	観察終了、移動
	21:00	やまなみホール到着

		終了
配付資料		なし
関係機関からの支援内容		○南山城村 マイクロバス（参加者送迎：やまなみホール～観察地）
河川レンジャーの活動内容	準　備	現地下見、現地近隣住宅への活動実施挨拶、参加者希望受付
	当　日	参加者受付、ホタルの生息環境について解説、運営（安全管理含む）
	事　後	カワニナ、タニシを逃がす。 現地近隣住宅への御礼挨拶、活動報告まとめ
参加者からの意見		平家ボタル、源氏ボタルの両方を見ることができてよかった。 蛍籌にたくさんの蛍をつけることができて、じっくり蛍を観察できた。 来年もぜひ参加したい。

15.2 活動状況



現地出発前に観察するゲンジボタルとヘイケボタルの違いや生態について解説



現地到着後、ホタルの餌となるカワニナを用いて生息環境について解説



観察状況



観察状況

16. 京・村まつり　　・平成 27 年 7 月 26 日(日)

16.1 実施状況

活 動 名	京・村まつり　親水公園ワンド魚とり		
活動分野	啓発その他・自然観察		
氏　　名	柴垣　治男（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：NPO 法人花鳥の郷をつくる会、漁業組合大河原支部)		
活動日時	平成 27 年 7 月 26 日(日)　10:50～12:30		
実施場所	南山城　親水公園ワンド  		
参加対象	地域住民（南山城村および周辺市町村）		
参加人数	参加総数	177 名	
	参加者	165 名	大人 51 名､子ども 114 名
	講師	―	なし
	スタッフ	6 名	京・村まつり実行委員会
	連携団体関係者	4 名	花鳥の郷をつくる会、漁業組合大河原支部
	府県・市職員	1 名	村役場職員
	淀川河川事務所		なし
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール		27,4,10　第 1 回京・村まつり実行委員会 5,8　第 2 回京・村まつり実行委員会 7,10　第 3 回京・村まつり実行委員会 7,19　河川敷美化作業 7,20～7,22　支流で魚を捕り生簀で飼う 7,25　前日準備　ワンドの整備、魚の準備	
配付資料		なし	
関係機関からの支援内容		○南山城村 親水公園周辺の整備（草刈り）、たも網貸与	

河川レンジャーの活動内容	準　備	現地下見、木津川流域での魚種の採捕、スタッフとの運営に向けた打合せ わんどの整備、取った魚を生簀で飼っておく
	当　日	10：00　魚の準備 11：00　開始 ・河川レンジャー挨拶、活動趣旨説明、親水公園ワンドの解説 ・活動時の注意事項説明 11：15　魚つかみ開始 12：00　魚つかみ終了 12：30　後片付け
	事　後	事前に木津川流域（南山城村周辺）で採捕した魚種の解説
参加者からの意見		親子で楽しい一日をすごすことができた。 子どもが生き生きと魚をつかんでいる様子を見てうれしかった。 来年もぜひ参加したい。

16.2 活動状況



親水公園ワンドについて解説



事前に木津川流域（南山城村周辺）で採捕した魚種の解説



魚とり実施状況



魚とり実施状況

○小泉河川レンジャー（上半期）活動報告

17. 平成 27 年度　河川レンジャー活動の目的と達成手段

17.1 活動の目的

１）　故郷（木津川）を知り語れる人作り
JR 松井山手駅を中心とする地域（京田辺市松井ケ丘小学校、八幡市美濃山小学校）では、若年人口の流入と子供の増加が発生している。このような人たちが木津川の自然や歴史を知り、自分たちの故郷として愛着を持ち、家族や友人、知人に語り伝えていけるようになる手助けをすること。
２）　木津川堤防の植物の保全
木津川堤防では、絶滅危惧種を含む多様な植物の生育の確認と保護の活動が 長年にわたり多数の先人により行われてきた。これらの活動が継続されていくこと。

17.2 活動の目標

Step1　１）子供会組織とのコネクションを作り、レンジャー活動の情報伝達のルートを作るとともに、先方のニーズや問題点を把握する。
２）従来から定期的に行われている植物観察会に関して、河川レンジャールートでの告知と結果報告の強化を行う。
Step2　１）野外授業など小学校との連携、文化祭などでの参加を行う。
２）保全区域や希少植物生育区域の定期観察や、草刈などの手入れ。
Step3　１）水辺の活動が行える手近かな場の確保、整備、保全について、住民団体の意見を集約して 行政への申し入れや協力を行う。
２）植物の保護や保全に関して、住民団体の意見を集約して 管理者への申し入れや協力を行う。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1 期		2 期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	1）子供会へのイベント情報提供 ニーズ調査 イベント参加希望者の引率 子供会とイベント共催 協力者との協働 2）植物観察会の開催 参加者を増やす施策の実施 新たな積極的参加者との協働					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	1）小学校と野外授業などで協力 田辺市文化祭等での展示参加 2）堤防工事地の植生再生の調査					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	1）　水辺活動の場の確保 2）　堤防工事地での植物育成					

平成 27 年度　活動分野と活動名

活動分野	活動名	実施時期
（１） 防災・救援・救難の推進を図る活動	**地域で考えよう防災**	秋頃
（２）河川の環境保全を図る活動	**木津川沿川活動団体交流会**	１月
	木津川マラソン河川レンジャー展	２月
	木津川クリーンアップ	５月
	木津川展	２月
	故郷（木津川）を知り語れる人作り	通年
（３） 河川の適正な利用の推進を図る活動	木津川の植物観察会	通年
（４）河川行政と地域・住民・住民団体とのコーディネイトを図る活動	（堤防工事後の植生再生の調査、本年度は活動とせず、準備とします）	
（５）川づくり・まちづくりへの参画・支援活動	（堤防工事地での植物育成、本年度は活動とせず、準備とします）	

※網掛は連携活動

18. 木津川　植物観察会　　・　　平成 27 年 7 月 11 日(土)

18.1 実施状況

活 動 名	木津川植物観察会		
活動分野	自然観察		
氏　　名	小泉　道夫（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：やましろ里山の会植物部会)		
活動日時	平成 27 年 7 月 11 日(土)9：30～12：30		
実施場所	玉水橋西詰・舟の公園駐車場～14.5ｋｍ付近 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	9 名	
	参加者	6 名	大人 6 名
	講師	－	
	スタッフ	2 名	湯川氏、伊藤氏(やましろ里山の会植物部会)
	連携団体関係者	－	
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	9:30	開始	
	10:20	ツルヨシの地上茎の計測	
	10:40	カワラサイコ、カワラナデシコのお花畑確認	
	12:00	堤防のミノボロ観察	
	12:30	終了、解散	
配付資料		告知チラシ 観察植物確認データ比較表(スタッフ作成)	
関係機関からの支援内容		特になし	
河川レンジャーの活動内容	準　備	今回の見どころなど観察ポイントをスタッフと協議、写真提供を受ける。 上記に基づき、告知チラシ（当日配布用）作成印刷 天気予報確認、木津川水位および高山ダム放水量確認	
	当　日	クーラーの氷及び冷たいお茶持参、観察会終了まで携行 休憩を含むタイムスケジュール管理	
	事　後	スタッフ報告書をもとに、スタッフと振り返り実施。 ウェブサイト用結果報告作成、掲載依頼行う　7/18　“当日報告 20150711” 現地再訪 7/24	
参加者からの意見		新しい参加者から、毎月実施されるのなら、参加したい。 今後参加希望　河川での体験活動、外来種駆除活動、 河川の歴史・文化を知る活動、意見交換会など川を考える活動	

18.2 活動状況



開会ミーティング



ツルヨシの地上茎の計測



参加者の植物観察

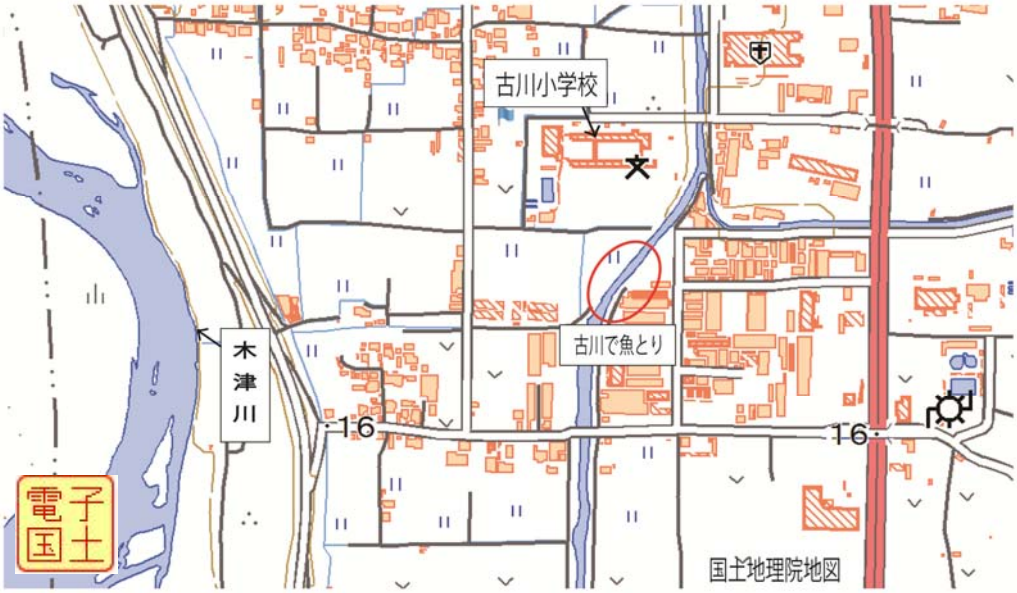


講師とミノボロ(保全地)探索

○福井河川レンジャーアドバイザー活動報告

19.古川小学校出前授業　　・　　平成 27 年 5 月 21・22 日(木・金)

19.1 実施状況

活 動 名	古川小学校出前授業・生きもの観察		
活動分野	自然観察、防災		
氏　　名	福井　波恵（木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：城陽市立古川小学校)		
活動日時	平成 27 年 5 月 21・22 日(木・金)13：30～15：50		
実施場所	古川小学校～古川  		
参加対象	城陽市立古川小学校 4 学年		
参加人数	参加総数	55 名	
	参加者	53 名	教師 3 名、4 年生 50 名
	講師	－	
	スタッフ	1 名	山田河川レンジャー
	連携団体関係者	－	
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	21 日 13:30	児童集合、開始、アドバイザーから追い込み漁のやり方について
	14:00	水辺で説明を聞く、アドバイザーからガサガサのやり方について
	14:10	みんなで魚とり
	14:35	網に入ったコイ
	15:00	古川の散乱ゴミの回収、回収ゴミの運搬
	15:20	魚合わせ(出現種の確認)、質疑応答
	15:30	終了、解散、巨大コイのリリース(放流)
	22 日 13:30	児童集合、開始、山田レンジャーから水質の講義
	15:00	アドバイザーから古川の成り立ちについて
	15:20	児童と質疑応答、採取した生きものや展示したカメほかの観察
	15:50	終了、解散
配付資料		アンケート用紙(担当レンジャー、事務局作成)、木津川一斉清掃(チラシ：担当レンジャー作成)
関係機関からの支援内容		木津川出張所・・・木津川の魚たちポスター印刷 河川レンジャーニュース

<table>
<tr><td rowspan="3">河川レンジャーの活動内容</td><td>準　備</td><td>5/13　古川小にて両担任と打ち合わせ
5/17　古川の下見(25 ㎝スッポンがとれる)・撮影　　5/20　古川の最終下見と活動場所の決定
5/20　パワーポイント作り直し
展示物、展示用生き物水槽準備</td></tr>
<tr><td>当　日</td><td>21 日
・古川小 4 年生に河川レンジャー活動の説明を簡単に行い、古川での魚とりを何故するのか、学習の目当てを持たせる。
・タモ網の持ち方、魚とりの方法、ゴミ拾いをする事を伝えて　現場へ行く
・魚獲りの範囲を指定して、再度魚とりの方法を実演した後、魚とりを開始する。獲った物について　説明する。
・水位が低く、工事の影響もあって　稚魚は獲れるが大きいサイズは取れない。しかし、子供達は小さくても生き物が網に入ると、大喜びをしていた。フナ、コイ、モツゴの稚魚 タウナギ(2)、メダカ、アカミミガメの幼体(ミドリガメ 4) ザリガニ　食用ガエル(1)　アカミミガメ(1) 65 ㎝の巨大コイ(1)
・ゴミ拾いをしつこく指導したのでたくさん拾うことが出来た。

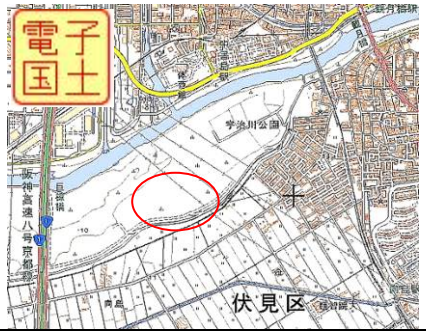
22 日
・水槽展示(ナマズ，コイ、フナ、オイカワ、モツゴ、スッポン、イシガメ、クサガメ、アカミミガメ) 外来生物ポスター展示
・学習の目当てを
①　治水のための古川の改修の必要性とその工事による川の変化を考えさせる。
②　川の変化が生き物にとって住みやすいかどうか､魚とりの体験から考えさせる。
③　古川の生き物の紹介
特に水質が悪くても生きられる生き物が多い事、在来種を捕食する外来生物が増えている事、魚が減った事などを紹介する。修工事により鳥たちの棲む環境が減ってきたことも伝える。

・子供達は、真剣に考え、発表して古川の現状と未来を考えることが出来た様に思います。</td></tr>
<tr><td>事　後</td><td>水槽・展示物の片づけ</td></tr>
<tr><td colspan="2">参加者からの意見</td><td>・魚とりででかいコイや魚がとれてとってもうれしかったです。また，行きたいです。
・魚をとる時は、草をたくさんふんで川が流れている方にアミをおくとたくさんとれることが分かった。小さかったけれど、とれてうれしかった。
・古川の水はとても汚くって、こんな水に入ったのかと思うととても嫌な気持ちになるけれど、すごく楽しいお思い出になりました。
・古川では外来種の魚がたくさんいて、もとから日本にいる魚が減ってきている。小さいフナしかいなくて、ウシガエルなどに中ぐらいの魚が食べられているので、いずれ大きいのがいなくなるかもしれないから外来種はダメだなあと思いました。
・古川は工事されて、魚の住む場所がなくなった。
・古川の水がきたなくなると、生き物がいなくなったり、外来種がいっぱいになることが分かった。
・こんな汚い川でも魚はせいいっぱい生きているんだなあと思いました。</td></tr>
</table>

○山村河川レンジャーアドバイザー活動報告

20.ツバメのねぐら　・　　平成 27 年 8 月 8 日(土)

20.1 実施状況

活 動 名	ツバメのねぐら入り観察		
活動分野	自然観察		
氏　　名	山村　武正（木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：やましろ里山の会)		
活動日時	平成 27 年 8 月 8 日(土)17：30～19：30		
実施場所	近鉄向島駅～向島ヨシ原 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	6 名	
	参加者	4 名	大人 4 名
	講師	－	
	スタッフ	－	
	報道関係者	1 名	毎日新聞社
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	17:30	開始、巨大なムクノキ観察	
	18:15	レンジャーからツバメのねぐらの説明	
	19:00	参加者はねぐらの現地に移動	
	19:15	ツバメの観察者、レンジャーの説明	
	19:30	終了、解散	
配付資料		ツバメのねぐら入り説明(レジュメ：担当レンジャー作成)	
関係機関からの支援内容		特になし	
河川レンジャーの活動内容	準　備	コースの下見と点検　　説明ポイントの確認　説明資料の作成　　マスコミへの案内記事の提供	
	当　日	コースの案内　ポイントでの解説　淀川の災害	
	事　後	特になし	
参加者からの意見		・昨年参加しようとしたがあいにく欠席となり、今年を楽しみに待っていた。 ・思っていたより燕が少なかった。 ・これだけの自然が残っているのを知らなかった。いい取り組みですね ・賑やかな大勢の皆さんが来られているのに驚いた	

19.2 活動状況



巨大なムクノキ(巨椋池の由来)



レンジャーからツバメのねぐらの説明

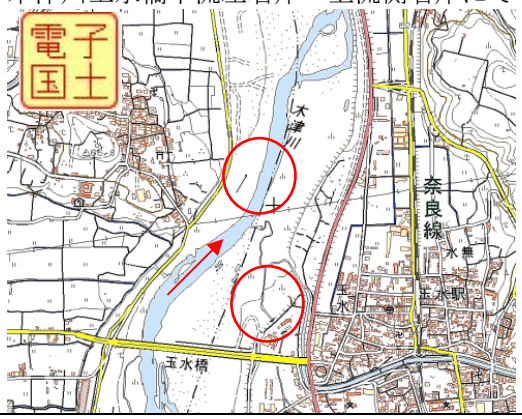




ツバメのねぐら入りの観察状況

21. 竹じゃかごづくりと設置 ・　　平成 27 年 10 月 17 日(土)

21.1 実施状況

活 動 名	竹じゃかご製作設置講習会		
活動分野	自然観察、治水		
氏　　名	小林　慧人（木津川出張所管内グループ河川レンジャー） 北野　大輔（木津川出張所管内グループ河川レンジャー） 山村　武正（木津川出張所管内グループ河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：NPO 法人やましろ里山の会、京都大学防災研究所、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、京の川の恵みを生かす会、京都府)		
活動日時	平成 27 年 10 月 17 日(土)10：00～17：30		
実施場所	木津川玉水橋下流左右岸～上流側右岸にてじゃかご制作～下流側左右岸にて設置  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	120 名	
	参加者	55 名	参加者名簿による
	講師	1 名	竹門京大准教授
	スタッフ	14 名	山田　信人（木津川出張所管内河川レンジャー） 田中　実知世（木津川出張所管内河川レンジャー） 小泉　道夫（木津川出張所管内河川レンジャー） 福井 波恵（木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー） 原小組 5 名、田中組 5 名
	連携団体関係者	19 名	NPO 法人やましろ里山の会、
	府県・市職員	10 名	亀岡市等
	淀川河川事務所	20 名	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	10:00	開始、アドバイザーから開会のコメント
	10:50	レンジャーから当日の進行について説明
	11:00	チームに分かれて指導スタッフの話、じゃかご編み開始
	15:30	蛇かごのトラック積み込み
	16:00	蛇かごの台船積み込み、水上搬送実験
	16:30	くい打ち開始、石受け渡しと詰め
	17:30	竹門先生の現場講義、終了、解散
配付資料		竹じゃかご製作要領、竹じゃかごの設置(レジュメ・パンフ：担当レンジャー作成)、川からみた風景、びーわいネット(パンフ：琵琶湖・淀川流域圏連携交流会)、鴨川の天然アユ復活に向けて(パンフ：京の川の恵みを生かす会)、アンケート用紙
関係機関からの支援内容		国土交通省木津川出張所・・玉石の提供、竹の利用許可　試行設置容認 京都大学・・竹門先生の竹蛇籠製作助言等
河川レンジャーの活動内容	準　備	事前研修・静岡県島田市　島田出張所と竹蛇籠製作体験 竹提供への要請作業 参加呼びかけの働きかけ　竹伐採・竹割作業　玉石準備と剪定　運びこみ方法の検討と協力依頼　参加名簿の集約と作製　プログラム編成　各本面への諸連絡

	当　日	プログラム進行　開会式での諸注意　蛇籠の組み上げ指導　参加者の体調管理　竹蛇籠の運搬　運びこみ　蛇籠の設置　杭打ち　玉石入れ　蛇籠の渡河のデモ 成果を評価して解散
	事　後	二日間の作業で予定６か所のうち５か所に設置　一カ所の杭打ちとなった。 三日目の作業として玉石入れを残っていたので、後始末と同時に追加作業実施 この日も含めて田中組さんの強力なボランティアによって、完成への目途がついた。
参加者からの意見		とにかくよくできた 蛇籠の最初の所が難しかった。 楽しく取り組むことができた　　蛇籠を完成できなかったことが残念。 いい取り組みでした。

20.2 活動状況



蛇かご編み全景



左岸から右岸へ水上搬送実験



竹じゃかご設置のくい打ち



完成したじゃかご水制と講師の現場講義

○グループ河川レンジャー（上半期）活動報告

（責任者：山村武正 構成員代表：小林慧人）

22.平成 27 年度　活動計画

22.1 活動テーマと活動分野

山村アドバイザーグループ河川レンジャーは、以下の活動目的とテーマのもと、８つの活動を実施します。

グループ河川レンジャーが考える河川の現状と課題

多くの住民にとって、川(特に大きな川)はただ流れているものであり、普段の生活から離れたものとして認識されているのではないか。そして学校やメディアでは、川の危険な面が強調・教育され、流域で暮らしていても川に愛着を持ちにくいという現状があると考える。言い換えれば、川の魅力に触れる機会が少ないことが現状であるといえる。

課題としては、特に子どもたちが原体験を積む機会を持てていないことだと考える。

グループ河川レンジャーとしての活動目的

将来、地域を担う児童や学生に、川と触れ合い、川に学ぶ場を提供する。また、活動を通して、グループ河川レンジャーが抱える課題を探し、参加者と共に解決策を考

活動目的を達成するために必要な期間

活動を通して、課題を抽出し解決策を考えるため、２年と設定する。

H27 年度の活動テーマ

・独自に企画し行う活動では、２０人以上の参加者(子どもたち)を集める。
・チャレンジ精神を忘れず、昨年度では取り組めなかった活動に挑戦する。
・グループ河川レンジャーが抱える課題を抽出し、解決策を考え、次世代につなげる。

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名（仮称）
川の環境保全を図る活動	①河川敷の植物の多様性をみよう！
	②河川敷の昆虫の多様性をみよう！
	③川魚の多様性をみよう！
	④川の水をみよう！
	⑤天井川で遊ぼう、そして知ろう！
防災・救援・救難の推進を図る活動	⑥ライフジャケットを使いこなせるようになろう！
川の適切な利用な推進を図る活動	⑦ゴミ拾いを通して河川敷の様子をみよう！
	⑧活動を知ってもらい、意見交換をしよう！

平成 27 年度　年間スケジュール

		活動名（仮称）	活動場所および内容
平成27年	4 月	4/5（土） 「⑥親子花見乗船体験、木津川展」 ・ 木津川管内河川レンジャーと連携する。 ・ 地域に浸透した活動を継続する。	【活動場所】 府営住宅田辺団地・馬坂川 【活動内容】 ・ 木津川展の運営に携わりながら、Gレンジャーの活動広報、および、後継者となる人材の発掘活動。 ・ ライフジャケット着用の指導を通して、安全に水辺で活動することの重要性を伝えるとともに、水辺の活動の楽しさも伝えることで、川に関心を持つ人材を育てる。
		4/11（土） 「①春の野草を食する会」 ・ 河川レンジャーアドバイザーが、河川レンジャーとしての知識・経験・技術を継承する。 ・ 構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 京田辺市草内・木津川運動広場 【活動内容】 ・ 河川敷の環境には様々な生き物の住処となっていることを、植物と昆虫の関係に着目し解説する。 ・ 2014 年度 G レンジャーの活動発表をし、2015 年度の活動広報、および、後継者となる人材を発掘する。 ・ 木津川堤防工事後の植生モニタリング調査(山城大橋～近鉄鉄橋左岸)をする。

		4/29（土） 「⑤天井川観察会　@馬坂川」 ・　構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 馬坂川 【活動内容】 ・　木津川につながる天井川が果たす役割について解説する。 ・　実際に天井川を歩き、今後の天井川のあり方について参加者と考える。 ・　馬坂川に入り、生息している生き物を観察し、身近な生き物に触れる機会を作る。
	5月	5/9（土） 「①春の木津川花散策」 ・　河川レンジャーアドバイザーが、河川レンジャーとしての知識・経験・技術を継承する。 ・　構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 木津川左岸河川敷(山城大橋～近鉄鉄橋) 【活動内容】 ・　植物にとって花を付けることにはどのような意味があるのか解説し、多様な生物が関わって暮らしていることを伝える。 ・　Ｇレンジャーの活動広報、および、後継者となる人材を発掘する。 ・　木津川堤防工事後の植生モニタリング調査をする。
		5/31（日） 「⑦木津川清掃」 ・　淀川管内河川レンジャーと連携する。 ・　河川レンジャーアドバイザーが、河川レンジャーとしての知識・経験・技術を継承する。 ・　地域に浸透した活動を継続する。	【活動場所】 木津川左岸河川敷(山城大橋～近鉄鉄橋) 【活動内容】 ・　清掃活動と並行して木津川堤防工事後の植生調査を行う。 ・　河川敷堤防の植生のあり方を環境・治水の面から解説する。
	6月	6/6（土） 「②親子自然観察会」 ・　河川レンジャーアドバイザーが、河川レンジャーとしての知識・経験・技術を継承する。 ・　構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 木津川左岸河川敷（山城大橋～近鉄鉄橋） 【活動内容】 ・　Ｇレンジャーの活動広報、および、後継者となる人材の発掘活動。 ・　木津川河川敷の昆虫・植物に関して解説するとともに、生態系の観点からも木津川の環境全体を保全することの重要性を参加者に伝える。 ・　木津川堤防工事後の植生モニタリング調査をする。

		6/21（日） 「③木津川親子で遊ぼう、学ぼう、魚とり」 ・　木津川管内河川レンジャーと連携する ・　地域に浸透した活動を継続する。	【活動場所】 木津川河川敷（開橋付近） 【活動内容】 ・　Gレンジャーの活動広報及び後継者となる人材の発掘活動。 ・　木津川に生息する生き物（主に魚類）について解説するとともに、ワンドという環境と生き物の関係について参加者と考える。
		6/29（月）,30（火） 「⑧近畿地方整備局研究発表会」	【活動場所】 大阪合同庁舎 【活動内容】
	7月	7/19（日） 「③魚とり　@山城大橋左岸」 ・構成員が主体となって、河川レンジャーアドバイザーの活動を、発展させるための活動。	【活動場所】 山城大橋の左岸ワンド 【活動内容】 ・　Gレンジャーの活動広報及び後継者となる人材の発掘活動。 ・　木津川に生息する生き物（主に魚類）について解説するとともに、ワンドという環境と生き物の関係について参加者と考える。 ・　木津川堤防工事後の植生モニタリング調査(山城大橋～近鉄鉄橋左岸)をする。
	8月	8/2（日） 「③魚とり　@山城大橋右岸」 ・構成員が主体となって、河川レンジャーアドバイザーの活動を、発展させるための活動。	【活動場所】 山城大橋の右岸ワンド 【活動内容】 ・　Gレンジャーの活動広報及び後継者となる人材の発掘活動。 ・　木津川に生息する生き物（主に魚類）について解説するとともに、川の対岸の環境の違い、見られる生物相の違いについて参加者とともに考える。 ・　木津川堤防工事後の植生モニタリング調査(山城大橋～近鉄鉄橋左岸)をする。
		8/23（日） 「⑥魚とり　@開橋」 ・構成員が主体となって、河川レンジャーアドバイザーの活動を、発展させるための活動。	【活動場所】 開橋の左岸ワンド 【活動内容】 ・Gレンジャーの活動広報及び後継者となる人材の発掘活動。 ・木津川に生息する生き物（主に魚類）について解説するとともに、ワンドという環境と生き物の関係について参加者と考える。また、同じワンド環境にあっても、時期や場所の違いによって生物層が異なるかどうか調べる。

	9月	9/4（土） 「①木津川堤防工事後　植生調査」 ・ 構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 木津川左岸河川敷(山城大橋～近鉄鉄橋) 【活動内容】 ・ 木津川堤防工事後の植生モニタリング調査をする。
		9/5（日） 「⑧第１９回里山講演会」 ・ 河川レンジャーアドバイザーが、河川レンジャーとしての知識・経験・技術を継承する。 ・ 地域に浸透した活動を継続する。	【活動場所】 京田辺市中央公民館 【活動内容】 ・ 2014 年度、2015 年度上半期の活動報告をする。 ・ Ｇレンジャーの活動広報をし、後継者となる人材を発掘する。
		9/19（土） 「①木津川堤防工事後　植生調査」 ・ 構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 木津川左岸河川敷(山城大橋～近鉄鉄橋) 【活動内容】 ・ 木津川堤防工事後の植生モニタリング調査をする。
	10 月	10/4（土） 「④第５回木津川一斉水質調査」 ・ 木津川管内河川レンジャーとの連携 ・ 河川レンジャーアドバイザーが、河川レンジャーとしての知識・経験・技術を継承する。 ・ 地域に浸透した活動を継続する。	【活動場所】 木津川 【活動内容】 ・ Ｇレンジャーの活動広報、および、後継者となる人材の発掘活動。 ・ 水質が異なると棲む生き物相に変化が生じることを解説し、実際に棲んでいる生き物を取り、参加者に普段の生活で利用する水と川の環境が密接なつながりを持つことの理解を深める。 ・ 木津川堤防工事後の植生モニタリング調査(山城大橋～近鉄鉄橋左岸)
		10/17（土)、18（日） 「②③木津川蛇籠作り」 ・ 木津川管内河川レンジャーとの連携 ・ 河川レンジャーアドバイザーが、河川レンジャーとしての知識・経験・技術を継承する。 ・ 地域に浸透した活動を継続する。	【活動場所】 木津川 【活動内容】 ・ 京都大学防災研究センターの竹門先生を招へいし、竹を用いた蛇籠作りを行なう。参加者の、木津川に生息する魚類などへの関心を高める。 ・ 蛇籠の規模、参加者等かなり大がかりなものとなることが予想されるため、各レンジャーと連携体制をとる。
	11 月	11/7（土） 「①木津川堤防工事後　植生調査」 ・ 構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 木津川左岸河川敷(山城大橋～近鉄鉄橋) 【活動内容】 ・ 木津川堤防工事後の植生モニタリング調査

	12 月	12/5（土） 「①木津川堤防工事後　植生調査」 ・ 構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 木津川左岸河川敷(山城大橋～近鉄鉄橋) 【活動内容】 ・ 木津川堤防工事後の植生モニタリング調査
	１月	1/9（土） 「③木津川堤防工事後　植生調査」 ・ 構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 木津川左岸河川敷(山城大橋～近鉄鉄橋) 【活動内容】 ・ 木津川堤防工事後の植生モニタリング調査
		1/16（土） 「⑧木津川沿川活動団体交流会」 ・ 木津川管内河川レンジャーとの連携 ・ 河川レンジャーアドバイザーが、河川レンジャーとしての知識・経験・技術を継承する。 ・ 地域に浸透した活動を継続する。	【活動場所】 京田辺市中央公民館 【活動内容】 ・ 活動報告をポスター展示し、Ｇレンジャーの活動広報、および、後継者となる人材の発掘活動。
	２月	2/13（土） 「①木津川堤防工事後　植生調査」 ・ 構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 木津川左岸河川敷(山城大橋～近鉄鉄橋) 【活動内容】 ・ 木津川堤防工事後の植生モニタリング調査
		2/20（土）～ 「⑧木津川展」 ・ 木津川管内河川レンジャーとの連携 ・ 河川レンジャーアドバイザーが、河川レンジャーとしての知識・経験・技術を継承する。 ・ 地域に浸透した活動を継続する。	【活動場所】 木津川流域センター 【活動内容】 ・ １年間の総括を行い、次年度へ繋がるよう課題を列挙し、話し合う。 ・ 展示解説を行い、Ｇレンジャーの活動広報、および、後継者となる人材の発掘活動。
	３月	3/5（土） 「①木津川堤防工事後　植生調査」 ・ 構成員が主体になり、地域の人と継続的な活動を行う。	【活動場所】 木津川左岸河川敷(山城大橋～近鉄鉄橋) 【活動内容】 ・ 木津川堤防工事後の植生モニタリング調査

22.2 活動実施における共通事項

（１）参加対象者

主に木津川流域に住む子どもたち（小学生は保護者同伴)。

（２）安全対策

コアメンバーが活動地の下見をし、危険箇所を把握しておく。

活動時は、参加者に対して危険な場所に関する説明をする。コアメンバーないしスタッフは、不測の事態に備え、救急セットを持っておく。

（３）広報・募集方法

活動のちらしを作成し、参加者を募集する。今年度は後継者の募集も同時並行して行う。

（４）協力スタッフ等の人数とその役割

スタッフの人数は活動によって異なる。見込まれる参加者に対して円滑な運営が行え、かつ安全対策が行える人数を確保する。詳細は事務局と実施計画で個々に定める。

（５）必要支援内容

活動テーマにより具体の内容が異なるため、実施計画作成時に明確化し、山村アドバイザー、事務局と調整の上、整理、要請していく。

（６）Ｇレンジャーが活動において果たす役割

活動を企画・準備し、活動実施時には全体を統括する。

（７）昨年度の活動体験を踏まえて改善した点

活動時は、口頭の説明だけでなく、配布資料や解説用フリップを作成して活用する。

（８）活動を行ううえでの課題等

山村アドバイザー、事務局（河川事務所含む）と連絡を密にし、準備・整理しておくこと。

（９）その他

■グループ河川レンジャー責任者と構成員

	氏名	所属等
責任者	山村武正	やましろ里山の会
構成員代表	小林慧人	同志社大学理工学部環境システム学科 4 回
構成員	北野大輔	滋賀県立大学環境科学部 4 回 滋賀県立 BASSER’S 代表
構成員	中栄玲志	京都学園大学バイオ環境学部 1 回 さつまいも栽培サークル

23.天井川観察会　　・　　平成 27 年 4 月 29 日(水・祝)

23.1 実施状況

活 動 名	天井川観察会@馬坂川		
活動分野	自然観察、水利用		
氏　　名	小林　慧人（木津川出張所管内グループ河川レンジャー） 北野　大輔（木津川出張所管内グループ河川レンジャー） 山村　武正（木津川出張所管内グループ河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：河原地区公民館有志)		
活動日時	平成 27 年 4 月 29 日(水・祝)13：00～16：15		
実施場所	近鉄新田辺～馬坂川～河原地区公民館  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	18 名	
	参加者	14 名	大人・学生 10 名、子ども 4 名
	講師	1 名	河原地区公民館有志　西口　兵治氏
	スタッフ	1 名	次期レンジャー候補者
	報道関係者	1 名	京都新聞社
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	13:00	近鉄新田辺駅集合、開始、現地に向けて移動
	13:30	馬坂川にてスタッフによるナマズの捕獲
	13:40	天井川(電車を越える区間)の見学、レンジャーから天井川の成り立ちについて
	13:50	昆虫、野草の観察
	14:10	馬坂川 1 号橋にてアドバイザーから馬坂川の水源について
	14:30	河原地区公民館にて地元西口兵治さんから地域の取り組みについて
	14:45	散乱ゴミの収集、みんなで魚採り
	15:20	レンジャーから出現種の説明、西口兵治さん巨椋池一口の由来説明
	16:15	参加者解散、アドバイザーと G レンジャーの意見交換、終了
配付資料		G レンジャー年間スケジュール(レジュメ：担当レンジャー作成)
関係機関からの支援内容		特になし
河川レンジャーの活動内容	準　備	観察会のルートを決定。ルート内の動植物種を把握。危険箇所を把握。 活動広報(新聞社・同志社大学理工学部)。(以上小林 G レンジャー) 活動場所の水生生物の把握。活動ルートの安全確認。(以上北野 G レンジャー)
	当　日	活動運営。(以上小林 G レンジャー) 天井川についての勉強。生息する動植物の観察。(以上北野 G レンジャー)
	事　後	反省会。河内地区公民館の使用料金処理。(以上小林 G レンジャー) 活動の反省。公民館使用料の精算。(以上北野 G レンジャー)
参加者からの意見		・家族みんながそれぞれ楽しめました。川の話や地域の方の話も興味深かったです。若い大学生の方との交流もあまりない機会だったので新鮮でした。 ・ゴミのポイ捨ては良くない。

	・初めて天井川を知りました。危険性を知れてよかったです。 地域の人の話を聞いて勉強になりました。 ・日本の田舎の人間と自然のつながり方を知れて感心しました。 ・いろいろ虫を捕まえて楽しかったよ。また行きたいな。 ・ザリガニがいっぱい取れてびっくりしたけど、ザリガニを福井先生にあげたら喜ぶと思いました。 ・どうしても子供の付き添いになってしまいます。 ・子供が楽しめる、生き物が多い居心地の良い川をたくさん知りたいです。 魚専門の私たちでしたが、植物や昆虫にも興味が湧きました。 ・なまずをとりたかったです。魚は取れてよかったです。 ・子供たちが純粋に自然を楽しむ姿勢に嬉しさを感じた。そして、自分の自然の楽しむ術の知らなさに気付かされた。 ・馬坂川が身近に感じました。ナマズやブルーギルを食べてみたいな。 ・普段何気に見ている川に思った以上に魚や生き物が住んでいてびっくりしました。コンクリート塀の川にも魚はいるんですね。 (以上小林Gレンジャー) ・いつもとは異なるレンジャーさんの活動に参加しましたが、非常に勉強になりました。大学生と一緒にいると、子供たちがいつもより生き生きと楽しそうに見えましたね。 (以上北野Gレンジャー)

23.2 活動状況



天井川(電車を越える区間)の見学



レンジャーから天井川の成り立ちについて



川の魚すくい



レンジャーから出現種について説明

24.親子で遊ぼう学ぼう魚とり　　・　　平成 27 年 8 月 2 日(日)

24.1 実施状況

活 動 名	親子で遊ぼう学ぼう魚とり		
活動分野	自然観察		
氏　　名	北野　大輔（木津川出張所管内グループ河川レンジャー） 山村　武正（木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：やましろ里山の会)		
活動日時	平成 27 年 8 月 2 日(日)　9：50～13：30		
実施場所	山城大橋左岸地先　普賢寺川河口付近  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	121 名	
	参加者	110 名	大人 56 名、子ども 54 名
	講師	－	
	スタッフ	3 名	田中河川レンジャー、小泉河川レンジャー 福井河川レンジャーアドバイザー
	連携団体関係者	10 名	菊池正臣氏、中栄氏含む 9 名(やましろ里山の会)
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	9:50	開始、スタッフ紹介
	11:00	レンジャーと追い込み漁
	11:30	レンジャーと魚あわせ(出現種の確認)
	12:20	レンジャーと参加者、投網のトレーニング
	12:30	特定外来種バス類の開腹作業、生きもののリリース
	12:50	アンケートの記入
	13:00	終了、解散
配付資料		当日進行スケジュール、会場見取り図、アンケート用紙、魚の名前リスト(レジュメ：担当レンジャー作成)、河川レンジャーNews
関係機関からの支援内容		木津川出張所からの支援 普賢寺川河口付近を木津川左岸での新たな親水活動場所として利用するにあたり、利用の合意、竹藪を切り開く進入路の新設など今年度当初から大きなご支援をいただいてきた。

河川レンジャーの活動内容	準　備	○これまで未利用地であるため、上記の進入路を確保いただいた後　数度の草刈を行うとともに、状況把握に努めてきた。 ○前々日準備（4 名）草刈、樹木伐採、陸と河道の危険物除去・清掃 ○前日準備（9 名）　魚種量確認資材搬入、日よけテント設営。 事前の呼びかけに応じて、参加者から 2 名の協力があった。 日よけテント、ミスト発生器まで準備でき、当日の暑さ対策が行えた。
	当　日	○全体進行、魚とり等の指導、安全管理、撤収確認など。 　猛暑日となり大変な暑さだったが、十分な冷水準備等で無事終了できた。 ○河川敷内の自動車通行の管理 　実施場所に入るには、堤防道路から、河川敷にある茶畑の中を通過する必要がある。河川敷利用にあたっては　茶園営農者との良好な関係確保を考慮すべきである。今回多数の車の通行を考慮し、砂ホコリを立てないよう徐行を呼びかけ、協力を得られた。今回催しに対して　農園作業中の方からは　これまでにない好意的な声かけをいただいたそうである。 ○参加家族の有志の方々の協力で、撤収作業が手際よく行えた。
	事　後	○名簿・アンケートの整理
参加者からの意見		○他の魚とりの催しでの回答と同様、普段出来なことが楽しめてよかった、との感想が多い。 ○開催準備や、実施にあたるスタッフへの感謝の意見は多い。 ○一方、説明や待ち時間が長い、行動の自由度が少ないなどの運営方法改善の意見がある。 ○集合場所から実施場所への移動は、家族毎ごとに順次行ってもらったが、地図、目印、案内人など改善点の指摘があった。

24.2 活動状況



スタッフ紹介と注意事項説明
　大きな日よけテントが見える



普賢寺川移動



レンジャーと追い込み漁



木津川にて投網体験

25. 親子で遊ぼう学ぼう魚とり　・　平成 27 年 8 月 23 日(日)

25.1 実施状況

活 動 名	親子で遊ぼう学ぼう魚とり　山城大橋		
活動分野	自然観察		
氏　　名	小林　慧人（木津川出張所管内グループ河川レンジャー） 北野　大輔（木津川出張所管内グループ河川レンジャー） 山村　武正（木津川出張所管内グループ河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：NPO 法人やましろ里山の会)		
活動日時	平成 27 年 8 月 23 日(日)10：00～12：30		
実施場所	山城大橋左岸地先、普賢寺川 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	24 名	
	参加者	16 名	大人 10 名、子ども 6 名
	講師	－	
	スタッフ	5 名	菊池氏、矢放氏、長谷川氏(やましろ里山の会木津川部会) 小泉河川レンジャー、福井河川レンジャーアドバイザー
	連携団体関係者	4 名	NPO 法人やましろ里山の会
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	10:00	開始、アドバイザーから木津川の歴史・成り立ちについての話
	10:20	スタッフとガサガサの体験学習
	10:40	参加者ナマズの手づかみ体験
	11:00	落差工付近で追い込み漁
	11:40	アドバイザーから外来種の確認
	12:00	参加者の投網体験、採捕したナマズのリリース、魚合わせ(出現種の確認)
	12:30	終了、解散
配付資料		告知チラシ・当日進行表(レジュメ：担当レンジャー作成)、花散策・バッタオリンピック(告知チラシ：担当レンジャー作成)、里山講演会・稲刈り体験・竹蛇かご(やましろ里山の会作成)
関係機関からの支援内容		特になし
河川レンジャーの活動内容	準　備	現場周辺の草刈り、当日活動場所の危険地点予測
	当　日	魚とりの指導、安全監視、生き物の解説、投網指導
	事　後	撤収作業、生き物のリリース
参加者からの意見		・大きなナマズがたくさんとれて楽しかった。浅いところもあるのにこれだけ大きなナマズが住んでいたのがびっくりした。 ・投網が面白かったので、またやりたい。今度は投網で魚を捕りたい。

25.2 活動状況



参加者ナマズの手づかみ体験



落差工付近で追い込み漁



採捕したナマズのリリース



参加児童の投網体験

○小泉河川レンジャー・グループ河川レンジャー連携活動

26.木津川自然観察会　・　　平成 27 年 5 月 10 日(日)

26.1 実施状況

活 動 名	木津川自然観察会		
活動分野	自然観察		
氏　　名	小林　慧人（木津川出張所管内グループ河川レンジャー） 北野　大輔（木津川出張所管内グループ河川レンジャー） 小泉　道夫(木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：非営利 NPO 法人　やましろ里山の会)		
活動日時	平成 27 年 5 月 10 日(日)　10：25～12：30		
実施場所	城陽市寺田桜堤周辺  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	9 名	
	参加者	4 名	大人 4 名
	講師	2 名	湯川氏、伊藤氏(NPO 法人　やましろ里山の会　植物部会)
	スタッフ	2 名	山田河川レンジャー、山村河川レンジャーアドバイザー
	連携団体関係者	－	
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	10:25	開始、レンジャーから開会のコメント、野草観察の開始	
	10:30	新たな参加者。木津川水防訓練が同時に開催した。	
	11:30	堤防の強害草(セイタカアワダチ)除去	
	11:40	ウマノスズクサとジャコウアゲハ幼虫の確認	
	12:30	確認種合わせ、終了、解散	
配付資料		告知チラシ(レジュメ：担当レンジャー作成)	
関係機関からの支援内容		後日木津川出張所より、参加者質問の堤防工事と除草の経過に関して回答をいただけた。	
河川レンジャーの活動内容	準　備	R24 から現地への進入口工事中、5/1 通行支障ないこと現地確認した	
	当　日	現地付近の地図に、かって確認された希少植物名を記載した資料を配布。 観察力点を講師と相談。表法植相の顕著な区域差を具体的に観察する。	
	事　後	報告書作成、共済団体に配布	
参加者からの意見		アンケート　「野草のことをもっとよく知りたい」 イネ科植物など、細かく観察するとたくさんの種類が生育していておもしろかった。 植物だけでなく、昆虫についての説明があってよかった。	

26.2 活動状況



観察前の行程説明(講師)



観察の状況



ウマノスズクサ観察

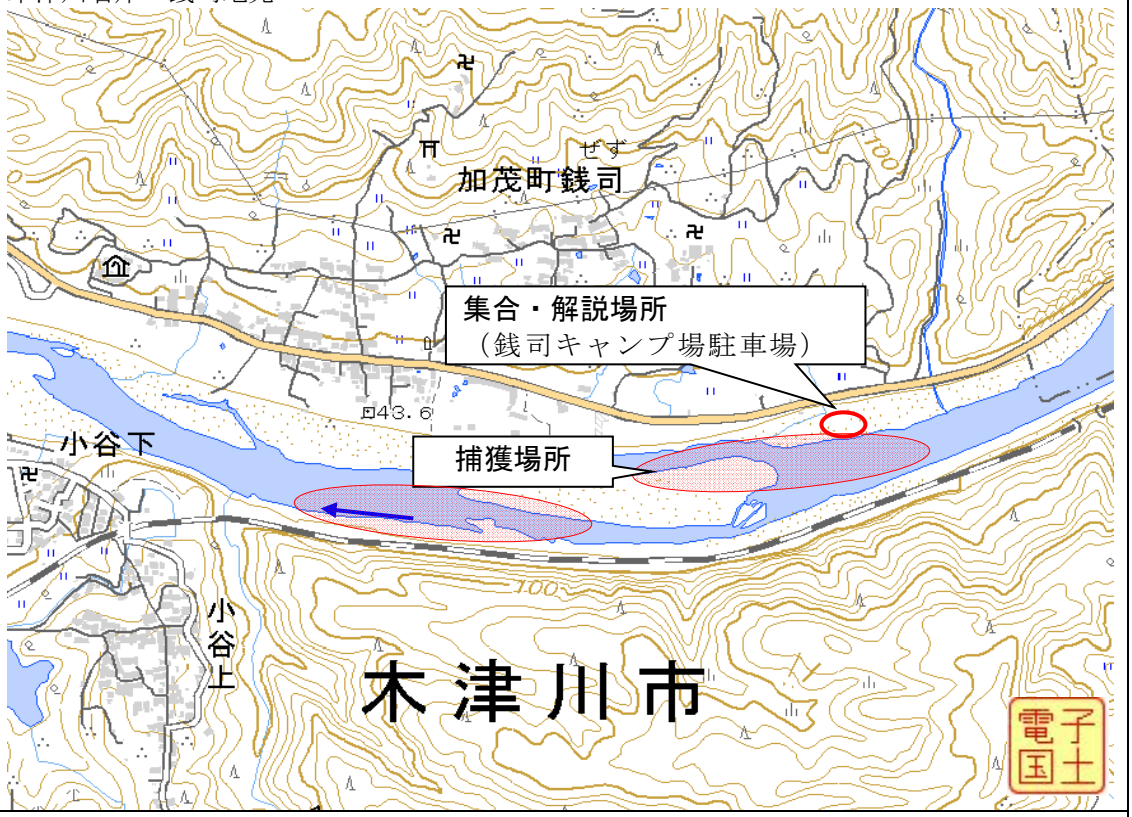


観察後のふりかえり

○柴垣河川レンジャー・谷口河川レンジャー連携活動

27. アユの棲む川、棲める川　　・平成 27 年 9 月 26 日(土)

27.1 実施状況

活 動 名	第 4 回アユの棲む川、棲める川「木津川における天然海産アユの捕獲作戦」		
活動分野	環境保全		
氏　　名	谷口　順彦（伏見出張所管内河川レンジャー） 柴垣　治男（木津川出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：木津川漁業協同組合)		
活動日時	平成 27 年 9 月 26 日(土)　9:20～12:40		
実施場所	木津川右岸　銭司地先 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	19 名	
	参加者	8 名	大人 8 名（福井河川レンジャーアドバイザー含む）
	講師	―	
	スタッフ	―	
	連携団体関係者	10 名	木津川漁業協同組合（本部、加茂・和束・笠置各支部）
	府県・市職員	―	
	淀川河川事務所	―	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	9:20	開始 ・河川レンジャー挨拶、活動趣旨説明、工程説明、注意事項 ・連携団体挨拶、指導員紹介
	9:40	捕獲場所へ移動・捕獲準備
	10:00	釣法「すがけ」によるアユの捕獲
	11:50	捕獲終了・解説場所へ移動
	12:00	捕獲したアユの同定・解説（海産アユ（遡上）、湖産アユ（放流）の違い） 過去の同活動結果によるデータ分析解説
	12:40	終了
配付資料		過去の同活動結果による海産アユ（遡上）、湖産アユ（放流）のデータ分析資料

関係機関からの支援内容		○木津川漁業協同組合 １）参加者への釣法「すがけ」によるアユの捕獲技術指導 ２）アユの刺し網漁法の見学のための実演
河川レンジャーの活動内容	準　備	現地下見、活動場所での事前のアユ捕獲調査、木津川漁業協同組合との運営に向けた打合せ
	当　日	１）参加者受付、 ２）運営（安全管理の説明） ３）班分け（参加者１名に対しインストラクター1 名)、 ４）実習場所２か所へ３組ずつ分かれ、約２時間の実習を開始。 ５）捕獲したアユを観察する。海産アユと琵琶湖産アユの識別法、雌雄判別法、両系統の産卵期の違いなどについて習う。 ６）木津川のアユの産卵場所と産卵期について説明をうける。 ７）疑問・質問に対してレンジャーとして回答する。
	事　後	準備物の後片付け、活動報告まとめ 捕獲物は研究用サンプルとして冷凍保存した。
参加者からの意見		１）実習の時間が短かく、十分技術を理解できなかった。 ２）あまり捕獲できなかった。 ３）　　漁場の様子がよく判らなかった。

27.2 活動状況



活動趣旨説明と下流（淀川）からのアユ稚魚遡上の状況解説



釣法「すがけ」によるアユの捕獲
（木津川漁業協同組合指導の下、２人１組で）



捕獲したアユの同定・解説（海産アユ（遡上)、湖産アユ（放流）の違い）

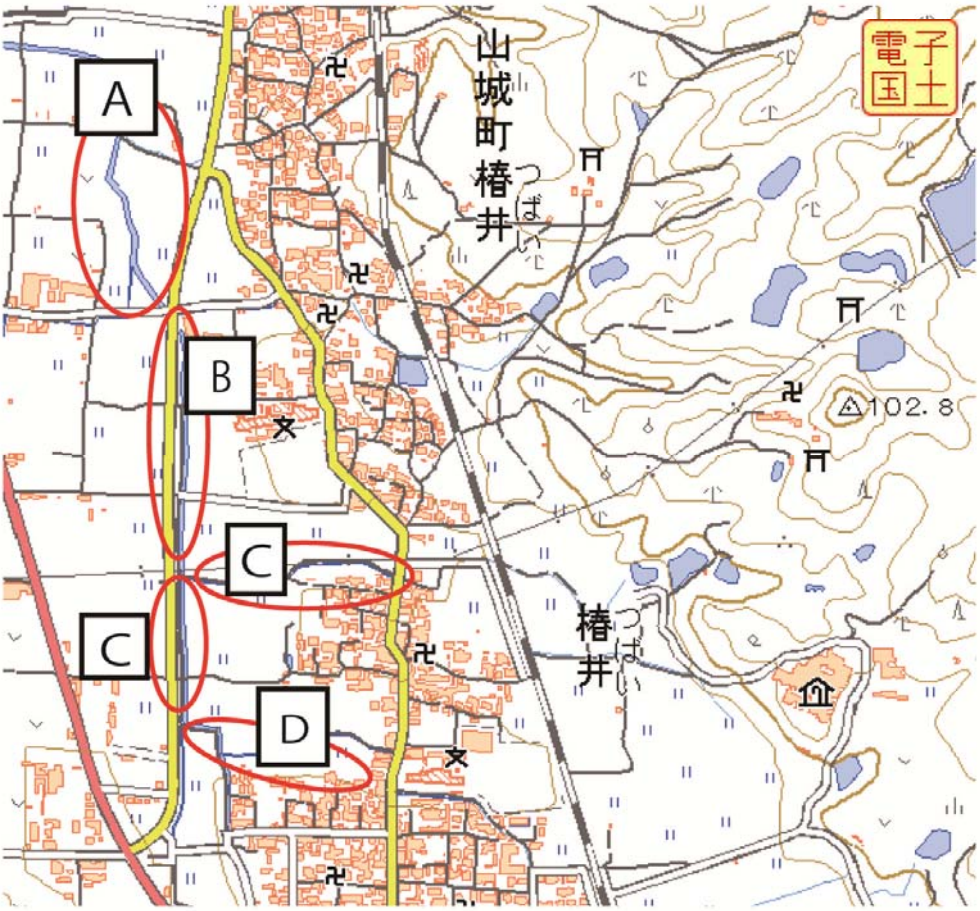


過去の同活動結果によるデータ分析解説

○山田河川レンジャー・福井河川レンジャーアドバイザー連携活動

28.上狛川クリーン作戦と親子川の学校　・　平成 27 年 9 月 12 日(土)

28.1 実施状況

活 動 名	上狛川クリーン作戦と親子川の学校		
活動分野	自然観察、河川美化		
氏　　名	山田　信人（木津川出張所管内河川レンジャー） 福井　波恵（木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：上狛東部水保全協会、上狛川を美しくする会、JA 京都やましろ農協)		
活動日時	平成 27 年 9 月 12 日(土)9：00～11：40		
実施場所	上狛川(JA 京都やましろ農協周辺)  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	36 名	
	参加者	21 名	大人 8 名、子ども 11 名、龍谷大学学生 2 名
	講師	－	
	スタッフ	2 名	親子川の学校父兄
	連携団体関係者	8 名	上狛東部水保全協会 8 名、上狛川を美しくする会 2 名
	報道関係者	1 名	毎日新聞社・京都新聞社
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

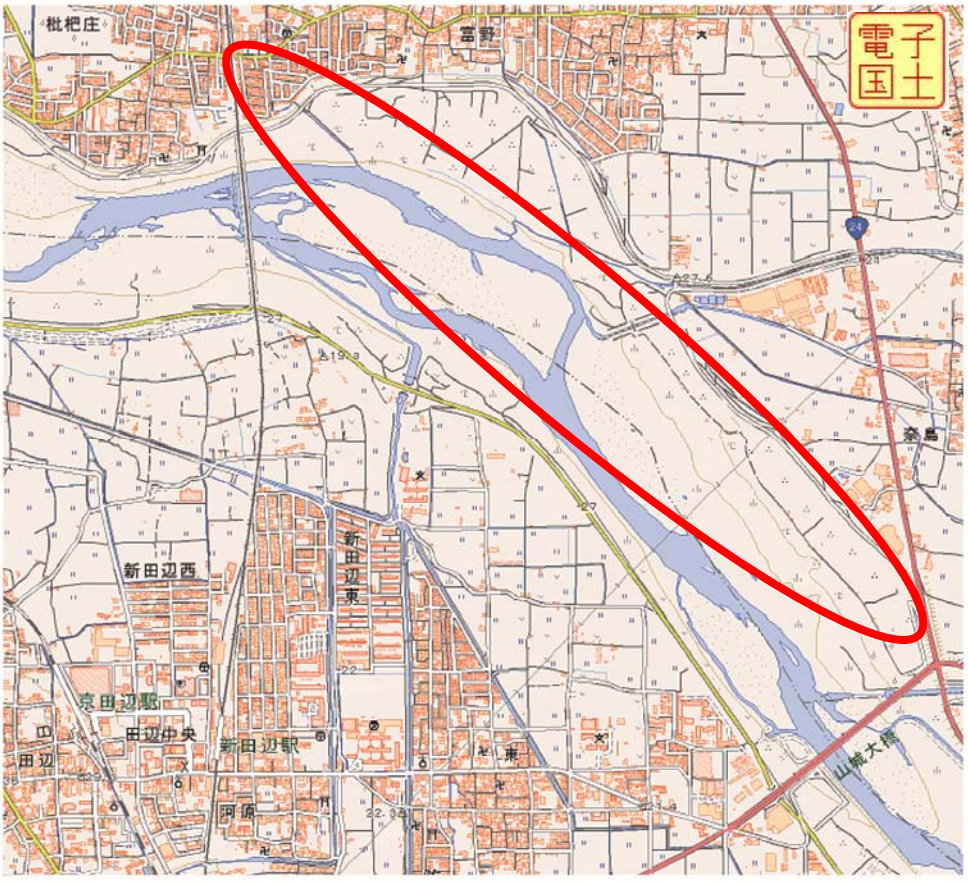
スケジュール	9:00 9:30 10:00 10:40 11:00 11:10 11:20 11:40	開始、レンジャーから開会のコメント 保全会によるジャンボタニシの掻き落とし 成貝の採取とふみつぶし駆除 川の活動終了 レンジャーと上狛川の水質調査 COD パックテストの開始 パックテストの吸水、色反応の評価、レンジャーによる上狛川の COD 総合評価 アドバイザーと魚合わせ(出現種の確認)、アンケートの記入 終了、解散
配付資料		上狛川夏の水質調査まとめ、水・調べてわかる数の見方、アンケート用紙(レジュメ：担当レンジャー作成)、親子川の学校たより各号、新川カジカ速報(レジュメ：担当アドバイザー作成)
関係機関からの支援内容		・淀川河川事務所（河川レンジャーのぼり、パックテスト（COD)、配付資料印刷・提供　他) ・上狛東部水保全協会(ジャンボタニシ駆除道具、バケツ、軍手、長靴)
河川レンジャーの活動内容	準　備	・共催団体との調整　・実施計画立案、資料作成 ・木津川管内河川レンジャー間の実施に向けた調整･打合せ ・木津川出張所との実施に向けた調整･打合せ ・農協へ会場借用依頼　・木津川市役所農政課、教育委員会協力依頼 ・上狛小学校へ児童配布の依頼　　・ポスターの展示
	当　日	・活動備品運搬･搬出　・水質調査水の採水とパックテストによる水質調査指導 ・ジャンボタニシ駆除と生き物調査指導・活動運営･安全管理・回収ごみの処理
	事　後	・参加者一覧作成・アンケートまとめ・活動報告のまとめ ・上狛川の水質汚染(夏)のまとめ作成・上狛川クリーン作戦たより作成

参加者からの意見	以下にアンケートからの感想を抜粋。 ・子どもたちが自然にふれあいながら地域に関わり、環境を守るとりくみができるのはいいことだなと思いました。 ・6 年前に比べて、今回本当に少なく感じた。みなさんの取組の成果だと思います。 ・メダカやカワニナやシジミが多いことに驚いた。少しずつきれいになっていることはうれしい。 ・ジャンボタニシがこの調子で減ってくれると良い。カワニナにホタルがたくさん集まるといいなあ。 ・たくさんの在来種が棲めて、子どもたちが安心して遊べる川にしたい。 ・子どもたちもとても楽しそうに興味しんしんで、生き物にとても興味を持っているようです。 ・うしがえるのおたまじゃくしが大きかった。・ジャンボタニシがキモかったです。 ・子どもたちとふれあいながら自然について学べ、良かったです。 ・地域の川やそれ以外の所に目を向けいい環境をつくっていきたいです。 ・親子で楽しい時間をすごさせていただきました。川に入ることがないので、子どもにとっていい体験でした。 ・少しずつ減っているジャンボタニシ絶滅に向けて活動を続けたい。（木津川が美しくなるためにも）  2015.9.13 京都 朝日 ジャンボタニシ退治だ 上狛川クリーン作戦 子どもら、卵も 木津川 稲に害を与えるジャンボタニシを駆除する「上狛川クリーン作戦」が12日、木津川市山城町椿井の上狛川であった。子どもらが川に入って、ジャンボタニシや卵の駆除を進めた。 ジャンボタニシを探して駆除する子どもたち（木津川市山城町椿井） 木津川市の小学生やニシは若い稲を食べ生保護者、水質環境を学育に悪影響を与える。ぶ大学生ら37人が参加上狛川でも15年ほど前した。子どもたちは網から発生し、地元の「上やトングを手に、川底狛川を美しくする会」にいるジャンボタニシを捕まえたり、草むらや護岸に生み付けられたピンク色の卵を水に落とし、ふ化できないようにした。外来種のジャンボタ などが駆除を進めてきた。 木津川管内河川レンジャーのアドバイザー福井波恵さん（64）は「昨年に比べ半分近く減った。地域諸団体の協力で防除剤の使用や駆除の参加者が増えた効果と思う」と話した。（住吉哲志）

○小泉河川レンジャー・山村河川レンジャーアドバイザー連携活動

29.木津川秋の花散策　　・　　平成 27 年 9 月 12 日(土)

29.1 実施状況

活 動 名	木津川植物観察会		
活動分野	自然観察		
氏　　名	小泉　道夫（木津川出張所管内河川レンジャー） 山村　武正（レンジャーアドイザー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：やましろ里山の会)		
活動日時	平成 27 年 9 月 12 日(土)9：30～12：30		
実施場所	木津川右岸　山城大橋からグレープ川付近までは河川敷及び旧堤防路 以降　城陽市冨野庄西垣内付近まで堤防上道路、 その後　近鉄冨野庄駅付近まで  		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	7 名	
	参加者	5 名	大人 6 名
	講師	－	
	スタッフ	1 名	近藤和男氏（やましろ里山の会）
	連携団体関係者	1 名	
	府県・市職員	－	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	名	
スケジュール	9:30	開始、青谷川河口付近で観察	
	10:10	旧堤防の竹林と茶畑の間の路を下流に歩きながら観察	
	11:20	グレープ川を経て榎の大木地点で休憩、地理・歴史について話	
	12:00	西中垣町内の個人宅のオミナエシ等観察	
	12:20	終了、解散	
配付資料	当日案内チラシ		

河川レンジャーの活動内容	準　備	植物ガイドをお願いした近藤和男氏、やましろ里山の会伊藤千恵子氏、山村 RA とともに、コース下見。 コース確認、決定。増水のため当初案から変更 本川への通路、除草 見られる植物を調査 上記に基づき、（当日配布用）作成印刷 天気予報確認、木津川水位および高山ダム放水量確認
	当　日	休憩を含むタイムスケジュール管理 地理、歴史説明（山村 RA）
	事　後	観察植物一覧作成。 報告作成
参加者からの意見		・クズの花を初めて見た。美しかった。 ・見たことのある花に、初めて名前を教えていただけた。 ・面白かったです。60 種余り教えてもらいました。楽しかったですよ。 ・ママコシリヌグイの名前の由来に関心しました。 ・皆様に元気をいただき、最後まで歩けました。 ・このコースなら、河川敷の水が引けば一日遊べますね。昼から一人でまた回ります。

29.2 活動状況

グレープ川下流域の観察



テイカズラの花



京都新聞

9 月 13 日紙面掲載



希少植物 歩いて学ぶ 城陽で観察会

秋の七草など季節の花を探しながら希少植物を学ぶ観察会が12日、城陽市富野の木津川で開かれた。参加者はクズやフタクサなど60種以上の花を見つけ、理解を深めた。

木津川沿いで見つけた植物の説明を受ける参加者たち（城陽市富野）

自然保護に取り組むNPO法人やましろ里山の会が、貴重な植物が多く生息する川一帯の現状把握を兼ねて定期的に開いている。

参加者は、会員に特徴や希少性についての説明を受けながら山城大橋から近鉄富野荘駅付近までの河川敷や堤防を歩いた。会によると外来種セイバンモロコシが勢力を広げ、これまで生息していた希少なアマナなどが見られなくなったという。

このほか会員の知人

まちかど

宇治

U-1健歩会

14日前9時半、桃山御陵西側参道入口集合（JR桃山駅から案内あり）。伏見桃山城、古御香宮など約7キロ。後2時半ごろ、京阪藤森駅にて解散。予約不要。弁当、飲み物、雨具など持参。当日午前中、府南部の降水確率60%以上の場合は17日に延期。

○山田河川レンジャー・田中河川レンジャー・柴垣河川レンジャー
小泉河川レンジャー・福井河川レンジャーアドバイザー連携活動

30.木津川クリーンアップ　・　平成 27 年 5 月 30 日(土)

30.1 実施状況

活 動 名	木津川一斉清掃 2015
活動分野	河川美化
氏　　名	山田　信人（木津川出張所管内河川レンジャー） 田中　実知世（木津川出張所管内河川レンジャー） 柴垣　治男　（木津川出張所管内河川レンジャー） 小泉　道夫　（木津川出張所管内河川レンジャー） 山村　武正　（木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー） 福井　波恵　（木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー） 小林　慧人（木津川出張所管内グループ河川レンジャー）
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：木津川漁業協同組合、木津川を美しくする会、NPO やましろ里山の会、木津川市、城陽市、京田辺市、笠置町、和束町、南山城村役場、京都府山城広域振興局木津地域総務室、高山ダム、布目ダム、酒井工業、木津高校ボランティア部、南山城村地域再生プロジェクト、花鳥の里を作る会、三重中央開発、布目ダム、松美建設、田中組）
活動日時	平成 27 年 5 月 30 日(土)9：00～11：00
実施場所	 ◆木津川各地の河川敷堤防（南山城村～八幡市京阪鉄橋まで） ◆各拠点（上記地図黄色矢印の範囲） ①やまなみホール河川敷（南山城村）②有市沈み橋（笠置町）5／24 実施　③和束川（和束町）④笠置大橋右岸河川敷（笠置町）6／23 実施　⑤恭仁大橋左岸（木津川市）⑥泉大橋左岸運動公園（木津川市）⑦開橋左岸（精華町）　⑧開橋右岸（木津川市）⑨玉水橋左岸飯岡（京田辺市）⑩山城大橋左岸（京田辺市）⑪山城大橋右岸（城陽市）⑫城陽市水主グランド（城陽市）⑬城陽市桜堤（城陽市）⑭流れ橋左岸（八幡市）⑮流れ橋右岸（久御山町）⑯流れ橋　上流（古川小区）+（城陽市）⑰1 号線木津川大橋下流（久御山町）⑱近鉄鉄橋グランド（京田辺市） ◆他の木津川レンジャー活動（山村レンジャー、小林Ｇレンジャー）との連携活動 木津川クリーンウォーク（終着点は 2 ヶ所、山城大橋左岸と天津神川河口）
参加対象	地域住民

参加人数	参加総数	245 名	
	参加者	245 名	各拠点参加者の延べ総数
	講師	−	
	スタッフ	−	
	連携団体関係者	−	木津川漁業協同組合、木津川を美しくする会、NPO やましろ里山の会 参加協力団体、企業等（高山ダム、布目ダム、酒井工業、木津高校ボランティア部、南山城村地域再生プロジェクト、花鳥の里を作る会、三重中央開発、布目ダム、松美建設、田中組）
	府県・市職員	−	木津川市、城陽市、京田辺市、笠置町、和束町、南山城村役場、京都府山城広域振興局木津地域総務室
	淀川河川事務所	−	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	9:00 9:50 10:00	開始、レンジャーから活動上の注意点、ゴミの回収開始 ゴミの集積 レンジャーから閉会のコメント、終了、解散（拠点により時間は前後する）
配付資料		告知資料(ポスター・チラシ：担当レンジャー作成)
関係機関からの支援内容		淀川河川事務所木津川出張所より、告知ポスター・チラシ印刷。ポスター掲出用杭と掲出材料提供、運搬車手配。木津川一斉清掃当日にむけて、清掃用具および消耗品提供。維持管理業者にてゴミ回収。報告書印刷。
河川レンジャーの活動内容	準　備	4 月 7 日　木津川漁業協同組合、木津川を美しくする会、NPO やましろ里山の会と河川レンジャーとで連携団体企画会議開催 実施 1 カ月前に木津川各拠点に告知ポスター掲出 印刷物、準備物手配
	当　日	木津川沿川 18 ヶ所にて木津川一斉清掃実施 山村 RA と小林G レンジャーの河川レンジャー活動である木津川クリーンウォークも連携して同日実施 実施後同日内に河川レンジャーにて各拠点のゴミ集積状況とりまとめ、木津川出張所に報告し翌日以降のゴミ回収データとする。
	事　後	後日、木津川出張所手配の維持管理業者にてゴミ回収。報告書作成。 8 月 4 日　木津川漁業協同組合、木津川を美しくする会、NPO やましろ里山の会と河川レンジャーとで「木津川一斉清掃報告会・反省会」開催

参加者からの意見	・今年度初めて、木津川漁協、木津川を美しくする会、木津川管内河川レンジャーが共催で「木津川一斉清掃」をおこなった事は意義ある事で、地元へのアピールになった。 ・共催団体の木津川を美しくする会は、本部と各支部が京都府山城広域振興局木津地域総務室、木津川市役所、精華町役場、笠置町役場、和束町役場、南山城村役場にあり、半官半民の団体である。そのため各行政の協力が得られる立場にあり、今年からの「木津川一斉清掃」共催について大変協力を得られた。 ・共催団体の木津川漁業協同組合は木津川管内の各地区に支部を持ち、木津川沿川をあまねくカバーする清掃活動をおこなった。 ・主催の他に、参加協力団体をもっと増やすよう次年度までにそわぞれの人脈をいかした輪を広げたい。 ・地元住民にボランティアを広報などで呼びかけて頂いた自治体もあり、住民参加で川を清掃するいいケースになっている。 ・今年度もダム（水資源機構）や川に関わる企業などからの参加があった。 ・各自治体への協力要請を来年度も引き続きおこなう。 ・行政の後援をとれないか。 ・木津川出張所の草刈りの日程が一斉清掃の２週間ほど前にすんでいると草むらに入る事ができてゴミ拾いが安全にできる。(木津川の草刈り範囲は広いので、全て合わせること不可能) ・来年度の日程を　2016 年 5 月 28 日（土）と設定。(今年度同様、なるべく一斉となるよう各自合わせるが、事情により前後することもある旨、相互に確認した) ・桂川が 2 月に大きなクリーン活動を展開しているので、そこと同じ時期にやれたらよりインパクトが大きな活動に出来るのではないか。

30.2 活動状況



やまなみホール河川敷　（南山城村）



泉大橋左岸運動公園　（木津川市）



城陽市桜堤　（城陽市）



流れ橋右岸（久御山町）

○山田河川レンジャー・田中河川レンジャー

柴垣河川レンジャー・小泉河川レンジャー連携活動

31.木津川市夏祭りロビー展　・　平成 27 年 7 月 6 日(月)～8 日(水)

31.1 実施状況

活 動 名	木津川市夏祭りロビー展示		
活動分野	自然観察、防災		
氏　　名	山田　信人　(木津川出張所管内河川レンジャー) 田中　実知世 (木津川出張所管内河川レンジャー) 山村　武正　(木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー) 福井　波恵　(木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー) 小泉　道夫　(木津川出張所管内河川レンジャー)報告作成		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：木津川市夏祭り実行委員会、NPO 法人やましろ里山の会、NPO 法人ふるさと案内・加茂、木津川を美しくする会木津川市支部)		
活動日時	平成 27 年 7 月 6 日(月)～8 日(水)10：00～17：00		
実施場所	木津川市役所ロビー：木津川市木津南垣外 110-9		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	220 名	
	参加者	183 名	大人名、子ども 20 名
	講師	－	
	スタッフ	5 名	
	連携団体関係者	30 名	
	府県・市職員	1 名	
	淀川河川事務所	－	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール		(7 月 6 日)
	8:30	木津川流域センターで資材積み込み
	9:00	展示作業開始、終了後　ミーティング
	10:30	開始、レンジャーから来場者への説明
	17:00	終了
	9:00～	(7 月 7 日)
	17:00	展示説明
	9:00～	(7 月 8 日)
	16:00	展示説明
	～17:30	撤収作業、終了ミーティング
	18:00	レンジャー会議、解散
配付資料		河川レンジャーNews、
関係機関からの支援内容		木津川市観光課より、展示用パネル貸与いただいき、撤収作業に協力いただいた。
河川レンジャーの活動内容	準　備	展示内容の相談 展示物を、各レンジャーで準備
	当　日	展示および撤収作業 交代で展示場に詰め、参加者への説明および対応
	事　後	連携団体へのお礼連絡等

参加者からの意見	◇たまたま市役所に来訪し、展示を見られた方がかなりおられた。 ◇新聞での案内を見て来訪された方も、多い。 ・皆さんの日頃の自然を守る活動が良く分かった。木津川の水質をすこしでも良くし　素晴らしい環境を次の世代に継いで行けたらと思います。 ・説明をして頂き　木津川にいる魚のことが良くわかりました。 ・展示を見て説明を聞いて、初めてのことばかりでびっくりしました。このような行事を行うことは大変良いと思います。 ・木津川が子供の遊び場として、安全に遊べるのか関心があります。 ・じゃこ取り程度で　漁協が遊魚料を徴収するのは納得できない。 ・初めて見たけれども思ったよりかわいい。木津川にスッポンが多いと知って驚いた。昔見た魚が今も木津川にいると知って安心した。とても懐かしい。 ・子供たちの川での活動記録を大変興味深く見せてもらった。地元の天井川の生き物、様子を良く調べていて感心した。 ・木津川の特定外来生物がこんなに多いと初めて知った。特定外来生物ということもはじめて知って勉強になった。 ・新聞で残念石の展示を知り、見に来た。加茂町以外にも山城町にもあると始めて知った。参考になった。 ・加茂町赤田川の改修で残念石がどうなるか心配だったので、とにかく多くの方に見てもらえて良かった。今後のことを考えていく契機になれば・・と思う。(加茂ふるさと案内人)

31.2 活動状況



(7 月 5 日)会場全景

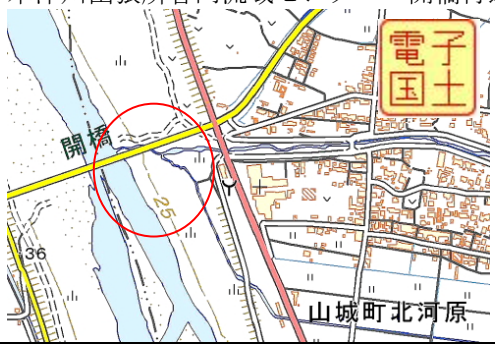


レンジャーから来場者への説明

○山田河川レンジャー・田中河川レンジャー・小泉河川レンジャー
福井河川レンジャーアドバイザー・杉本河川レンジャー連携活動

32.木津川生きもの観察会　・　平成 27 年 7 月 31 日(金)

32.1 実施状況

活 動 名	摂津市：木津川に学ぶ　水辺の生きもの観察会		
活動分野	自然観察		
氏　　名	杉本　真一(高槻出張所管内河川レンジャー) 山田　信人(木津川出張所管内河川レンジャー) 田中　実知世(木津川出張所管内河川レンジャー) 小泉　道夫(木津川出張所管内河川レンジャー) 福井　波恵(木津川出張所管内河川レンジャーアドバイザー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：摂津市生活環境部環境政策課、NPO 法人やましろ里山の会)		
活動日時	平成 27 年 7 月 31 日(金)　11：00～15：00		
実施場所	木津川出張所管内流域センター～開橋付近 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	39 名	
	参加者	29 名	大人 6 名、子ども 23 名
	講師	－	
	スタッフ	1 名	菊池正臣氏(やましろ里山の会)
	連携団体関係者	－	
	府県・市職員	3 名	摂津市生活環境部環境政策課
	淀川河川事務所	5 名	高槻出張所、木津川出張所
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	11:00	開始、レンジャーから活動の注意点について、スタッフからコメント
	11:20	レンジャーと魚採りの開始
	11:45	レンジャーと追い込み漁のトレーニング
	11:50	魚合わせ(出現種の確認)
	12:20	流入支川での追い込み漁
	12:50	特定外来種バス類の除去作業
	13:40	室内にて木津川の魚たち、木津川の砂の話、水質調査、の座学・解散
	15:00	閉会のコメント、終了、解散
配付資料		河川レンジャーNews、木津川読本「木津川ってどんな川？」
関係機関からの支援内容		ふりかえりシートの印刷 資材借用（ライフジャケット、手網等） NPO 法人やましろ里山の会より「木津川ってどんな川？」の読本提供
河川レンジャーの活動内容	準　備	5/25、7/16 木津川レンジャー、木津川出張所、摂津市との打ち合わせ 7/21、7/23 現地下見（高槻出張所長と共に） 資材借用リストの作成及び高槻出張所との調整
	当　日	資材搬入・設営・撤収 運営（司会進行、安全管理）
	事　後	関係機関への挨拶（摂津市） ふりかえりシートの回収

参加者からの意見	・小さな川で魚をみつけたのでよかった ・摂津市は川に囲まれていますが、上流はどうなっているのかとても興味がわきました ・きづ川にはめずらしいすなの川だと分かった ・また生き物さがしをしたいです。 ・川の水がつめたかった ・水しつちょうさもしたし川のこともいっぱいしれたからうれしかった ・しらない魚をおしえてもらってすごく魚にきょうみをもてた。

32.2 活動状況



レンジャーから活動の注意点について



レンジャーと魚採りの開始



室内にて座学



レンジャーと河川の水質調査